

令和 4 年 度

新潟市文化財調査概要

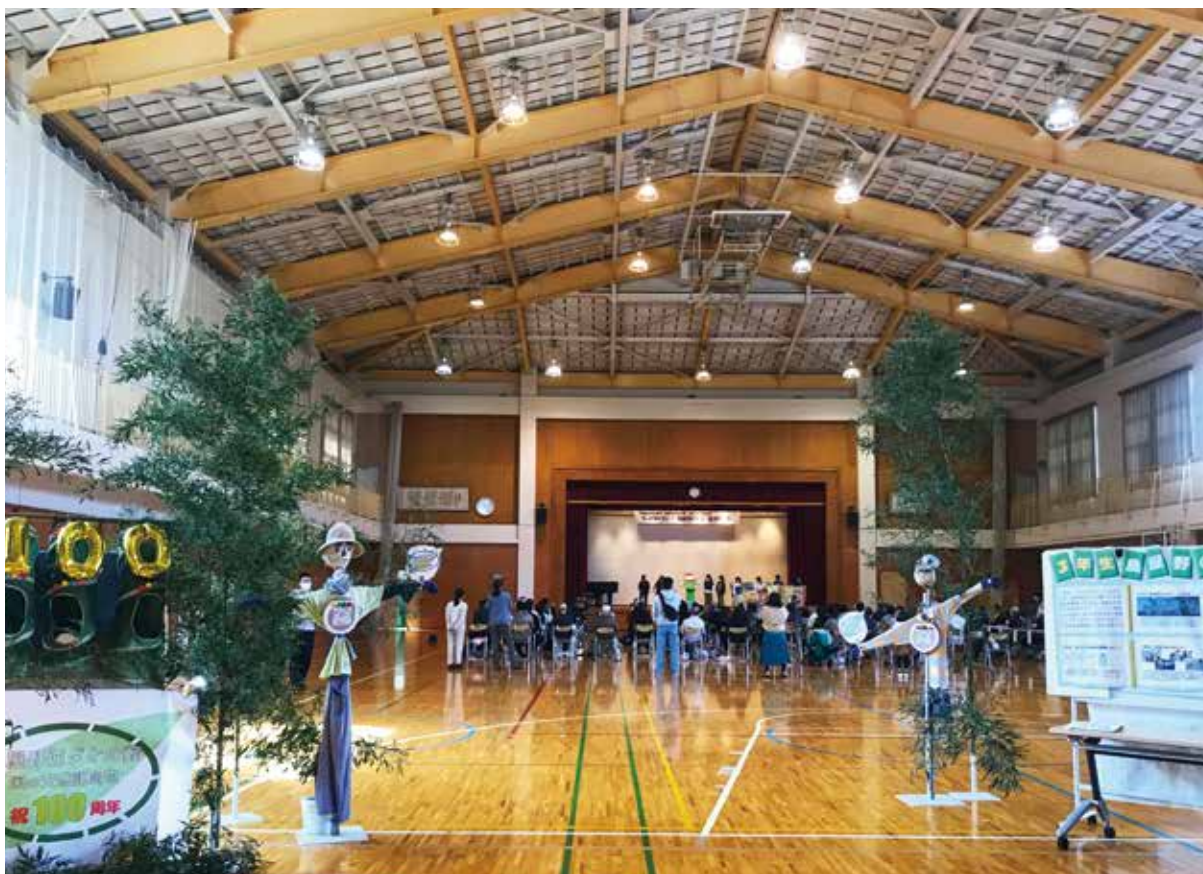
新潟市教育委員会



天然記念物鳥屋野逆ダケの藪 とやのさかさ 大規模開花（令和4年6月2日撮影）



天然記念物鳥屋野逆ダケの藪 開花したハチク（令和4年6月2日撮影）



天然記念物鳥屋野逆ダケの藪指定100周年記念事業（令和4年10月29日撮影）



国登録有形文化財^{こかしや}小鍛冶屋^{たかしま}（旧高島家住宅）主屋（令和4年10月31日登録）
（撮影：田村収）

目 次

I	令和4年度文化財調査概要	
1	文化財保護体制と文化財の現況	1
	(1) 文化財保護体制	
	(2) 令和4年度組織図	
	(3) 文化財の現況	
2	一般文化財	3
	(1) 国登録文化財の新規登録	
	① 小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋	
	(2) 第26期新潟市文化財保護審議会	
	① 委員名簿	
	② 会議の概要	
	(3) 歴史資料の保存・活用	
	① 文書館の開館	
	② 文書館の事業	
	(4) 一般文化財の調査・保護・活用	
	① 名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業	
	② 重要文化財旧笹川家住宅保存整備事業	
	③ 天然記念物鳥屋野逆ダケの藪の大規模開花	
	④ 天然記念物鳥屋野逆ダケの藪指定100周年記念事業	
	⑤ 天然記念物鳥屋野逆ダケの藪の雪害対応	
	⑥ 動く市政教室	
	⑦ 市政さわやかトーク宅配便	
	⑧ 新潟市文化財保護調査事業費補助金の交付	
3	埋蔵文化財	18
	(1) 概要	
	① 埋蔵文化財保護関係事務	
	② 試掘確認調査・工事立会	
	③ 本発掘調査	
	(2) 史跡の保存活用事業	
	① 委員会・部会	
	② 古津八幡山遺跡確認調査	
	③ 整備事業	
	④ 活用事業	

(3) 文化財センター活用事業

- ① 団体利用
- ② 企画展
- ③ 講座・イベント等
- ④ 出前講座・職員派遣
- ⑤ 資料の利用・貸出
- ⑥ 現地説明会

II 文化財調査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
国登録有形文化財「小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋」について	

III 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
1 国・県・市指定文化財、国登録文化財一覧表	
2 区別・ジャンル別文化財件数表	
3 歴史文化課等の変遷	

I 令和4年度文化財調査概要

1 文化財保護体制と文化財の現況

(1) 文化財保護体制

文化財保護事務は教育委員会の所管であるが、平成11年度に教育委員会生涯学習課等の所管事務を引き継ぎ市長部局である総務局国際文化部歴史文化課が設置され、それ以降歴史文化課が補助執行している。

令和4年4月1日現在、新潟市文化スポーツ部歴史文化課は、課長以下10名の正規職員、3名の会計年度任用職員で構成されている。

また、埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存・活用する施設として準課相当の機関の新潟市文化財センターがあり、職員は所長以下14名の正規職員、7名の会計年度任用職員で構成されている。

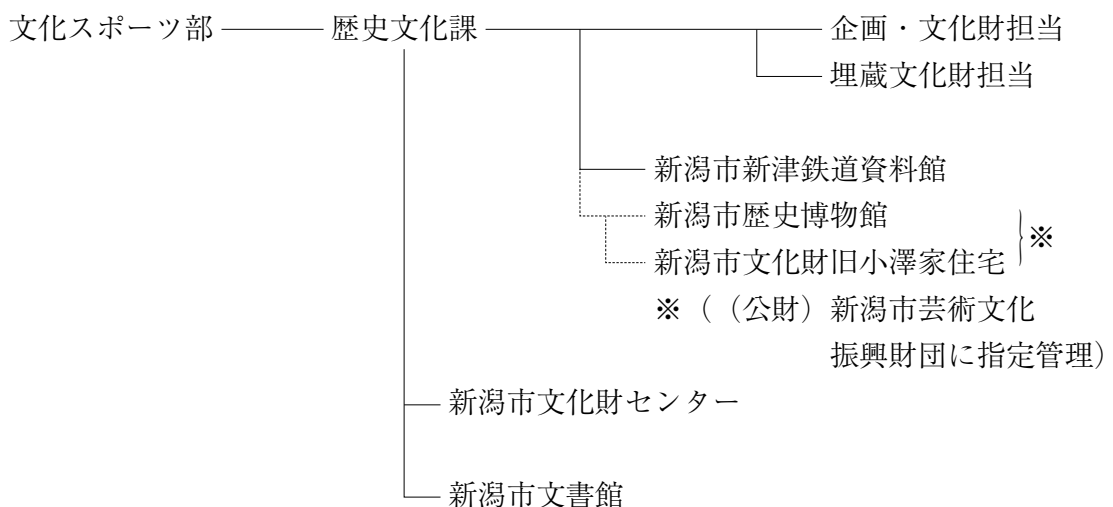
また、歴史的に重要な公文書等を適切に保存し、市民等の利用に供するための施設として準課相当の機関の新潟市文書館があり、職員は館長以下6名の正規職員、4名の会計年度任用職員で構成されている（歴史文化課兼務1名を含む）。

また、各区役所地域総務課等が各区の文化財に関する業務を所管し、区役所に設置される一部の機関（北区郷土博物館、西蒲区巻文化会館）も文化財に関する業務を所管している。さらに必要に応じて、地区公民館の職員に各区地域総務課等の併任発令を行い対応している。

市内の歴史文化施設については、歴史文化課が新潟市文化財センター、新潟市文書館、新潟市新津鉄道資料館、新潟市歴史博物館を所管し、それ以外を区役所が所管している。

歴史文化課等の変遷については「Ⅲ 資料」に掲載している。

(2) 令和4年度組織図



(3) 文化財の現況

令和4年度、新潟市内の文化財新規指定及び解除はなかった。文化財新規登録は次の通りである。

国 新規登録 1件「小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋」（有形文化財（建造物））

令和5年3月31日現在、市内に存する指定文化財は計324件（国21件、県43件、市260件）、国登録文化財は37件である。

文化財の件数（区別の件数、種類別の件数）と、指定文化財及び登録文化財の一覧表は「Ⅲ 資料」に掲載している。

2 一般文化財

(1) 国登録文化財の新規登録

① 小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋

ア 名称及び員数	小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋 1 棟
イ 登録年月日	令和4年10月31日
ウ 登録番号	第15-0566号
エ 所在地	新潟市西蒲区岩室温泉字居掛666
オ 建設年代	江戸末期／明治中期・大正前期改修
カ 構造・形式等	木造2階建、瓦葺、建築面積247㎡
キ 登録理由	国土の歴史的景観に寄与しているもの
ク 所 見	長岡造形大学 教授 平山育男
ケ 沿革と建物の特徴	

岩室温泉郷の北端に位置する元は板葺きの町屋型住宅である。前座敷が明治10年代後半頃、後座敷が大正時代前期、居室棟が江戸時代末期の建築と考えられる。正面側の玄関土間は数寄屋風で、後座敷は吹抜で高窓を設ける。各部屋の意匠は地域における伝統的な技術を伝承するものとなっている。街道との間に前栽を置く旧家の表構えが歴史的景観を形成する。

「小鍛冶屋」は、岩室温泉高島屋の分家で、本家がかつて鍛冶屋であったことに因み、戦前期の居住者は村長などを務めた高島幸蔵である。建物は近年まで住宅として使われ、現在は料理店として活用されている。



小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋
外観（東・南面）
（撮影：田村収）



小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋
前座敷1階次の間（北西より）

(2) 第26期新潟市文化財保護審議会

① 委員名簿

(任期：令和4年6月1日～令和6年5月31日 役職等は令和5年3月31日現在)

役職	氏名	所属・職名等	専門分野等
会 長	森 田 龍 義	新潟大学名誉教授	記念物（植物）
副会長	坂 井 秀 弥	奈良大学名誉教授 新潟市歴史博物館館長	記念物（史跡） 有形文化財（考古資料）
委 員	浅 倉 有 子	上越教育大学大学院学校教育 研究科国際交流推進センター 特任教授	有形文化財 （歴史資料〔近世史〕）
委 員	岩 田 多佳子	一般社団法人安吾顕彰会理事	有形文化財（絵画・美術工芸品）
委 員	小 田 節 子	元新潟市立内野中学校教諭	無形民俗文化財（邦楽）
委 員	加賀谷 真梨	新潟大学人文学部准教授	有形・無形民俗文化財
委 員	栗 田 裕 司	新潟大学理学部准教授	記念物（地質鉱物・石油地質）
委 員	黒 野 弘 靖	新潟大学工学部准教授	有形文化財（建造物）
委 員	中 村 元	新潟大学人文学部准教授	有形文化財 （歴史資料〔近現代史〕）
委 員	松 岡 久美子	近畿大学文芸学部准教授	有形文化財 （彫刻・美術工芸品）
委 員	山 崎 誠 子	日本大学短期大学部准教授	記念物（名勝）

② 会議の概要

今年度は1回の会議を開催した。会議の概要は次のとおりである。

第26期第1回会議

期日：令和4年11月2日（水）

場所：新潟市文書館 1階講座室

議事：・会長・副会長の選出

【協議事項】

・絵画の新規指定の方向性について

第24期第2回審議会において要協議とされた絵画の新規指定の方向性について、各委員より聴取した意見をもとに協議を行った。

【報告事項】

- ・ 新規指定された市内の県指定文化財について
令和４年３月に新規指定された「金銅装束」及び「延命寺遺跡出土品」について報告を行った。
- ・ 新規登録された国登録有形文化財（建造物）について
令和４年10月に新規登録された「小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋」について報告を行った。
- ・ 鳥屋野逆ダケの藪の開花及び指定100周年記念事業について
令和４年４月から８月にかけて鳥屋野逆ダケの藪の西側外周のハチク約400本が開花したことについて報告した。
また、令和４年10月に実施した天然記念物鳥屋野逆ダケの藪指定100周年記念事業について報告した。
- ・ 住吉祭 纏（四番組・五番組・二十番組）の調査について
新潟市（現新潟市中央区）の住吉祭（現新潟まつり）で使用されてきた纏に関する調査について報告を行った。

(3) 歴史資料の保存・活用

① 文書館の開館

新潟市では、「特定歴史公文書」^{注)}等を適切に保存し、市民等の利用に供するための施設として、令和4年1月8日に「新潟市文書館」を開館した。「新潟市文書館条例」に明記されている4つの事業を行っている。

注) 市政を検証するために後世に残すべき重要な文書のうち、保存期間が満了した行政文書や、個人等から寄贈・寄託された文書

② 文書館の事業（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

ア 特定歴史公文書の保存、利用提供

- 特定歴史公文書をはじめとした所蔵資料の利用提供を行った。

資料の利用（点）

	閲覧	複写
特定歴史公文書	304	1,175
刊行物等	63	120
合計	367	1,295

- 保存期間が満了した行政文書の文書館への受入れをして、令和4年度は、紙媒体で7件、電子媒体で49件を選別・引継いだ。
- テレビ放送、論文や講演における資料掲載、出版物への掲載など、令和4年度は13件の資料掲載申請があった。

イ 新潟市の歴史に関する資料の収集・調査研究

- 個人や自治会などが所蔵する資料の訪問調査を5回行った（西蒲区旧庄屋の個人宅・北区太夫浜区有文書など）。
- 市民等からの寄贈が4件あった（近現代の写真・地図資料など）。

ウ 新潟市の歴史編さん、歴史に関する情報発信

- ホームページの更新を定期的に行うとともに、企画展示や歴史講座については、チラシやデータを市の施設や学校に送付する方法により、周知に努めた。また、新たに新潟市の公式LINEによる情報発信も開始した。
- 令和4年度に実施した主な講座等は、次のとおりである。

<歴史講座>

講師：伊東祐之氏（新潟市歴史博物館前館長）

演題：都市新潟の成長・拡大と中心機能の移転・拡散・再編（仮説）

<小中学生向け文書館講座>（夏休み期間）

「ここはどこ？これはなに？ -新潟の今・昔地図をつくろう-」

<職員の派遣による講座や出前授業>

講座……巻郷土資料館など5回

授業……附属新潟中学校など2回

- 新潟市文書館だより創刊号を発行した。所蔵資料の紹介のコーナーでは、県の有形文化財に指定されている「新潟市上水道敷設関係資料」を取り上げた。

エ 所蔵資料の公開・活用の推進、市民等の調査研究の支援

- 所蔵資料の公開・活用として、新潟市の通史を紹介する常設展示のほか、年1回テーマを決めての企画展示も行った。

＜令和4年度の企画展示＞ 萬代橋三代のあゆみ

- 自宅のパソコンなどから資料の有無や当日閲覧の可否を確認できる「新潟市文書館所蔵資料検索システム」の利便性や使用法を、講座・視察・レファレンス対応などの機会に案内した。

文書館講座・企画展示等の様子



小中学生向け文書館講座



新潟市文書館だより



企画展示「萬代橋三代のあゆみ」①



企画展示「萬代橋三代のあゆみ」②

(4) 一般文化財の調査・保護・活用

① 名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業

ア 文化財の概要

名 称	名勝旧齋藤氏別邸庭園
所 在 地	新潟市中央区西大畑町576番2 外9筆
所 有 者	新潟市（新潟市中央区役所地域課所管）
対 象 範 囲	新潟市が所有する施設「新潟市旧齋藤家別邸」のうち西側の駐車場を除いた範囲で面積は4,400.30㎡
指定年月日	平成27年3月10日（文部科学省告示第39号）

イ 経緯

平成27年の名勝指定を受け、平成28年度に『名勝旧齋藤氏別邸庭園保存活用計画』を策定し、今後目指すべき庭園の将来像と保存・管理・整備・活用の方針を定めた。平成30年度には保存活用計画をふまえ今後必要となる整備の基本方針と計画内容を具体的に記したアクションプランである『名勝旧齋藤氏別邸庭園整備基本計画』を策定した。この整備基本計画に基づき令和元年度に策定した基本設計及びその後に策定される実施設計に基づき、保存整備工事を順次実施している。

ウ 事業内容

(ア) 事業名称 名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業

(イ) 事業主体 新潟市（文化庁の国庫補助金を受けて実施）

(ウ) 主な事業内容

平成30年度	○『名勝旧齋藤氏別邸庭園整備基本計画』策定 ○マツクイムシ対策実施
令和元年度	○基本設計策定 ○一部庭園実施設計策定 ○一部庭園整備工事（竜安寺垣の更新）
令和2年度	○一部庭園実施設計策定 ○一部庭園整備工事（名勝標柱設置、縦穴排水設置、景石洗浄、枯損イスノキ抜根、苔移植、樹木枝下ろし、園路顕在化）
令和3年度	○一部庭園実施設計策定 ○一部建造物実施設計策定 ○一部庭園整備工事（高木剪定・縦穴排水設置・張芝・一部樹木樹勢診断・堆積土除去・土留め柵設置・斜面修復）
令和4年度	○一部庭園実施設計策定 ○一部建造物実施設計策定 ○一部庭園発掘調査 ○一部庭園整備工事（高木伐採及び剪定・側溝補修・雨落改善・堆積土除去・土留め柵設置・灯笼火袋整備・張芝・縦穴排水設置）

※上記の他に、毎年度名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会を実施

(エ) 令和4年度の主な工事実施箇所



主庭堆積土除去・土留め柵設置



主庭張芝



灯笼火袋整備



北西管理用地石積発掘調査

エ 名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会の実施

名勝旧齋藤氏別邸庭園の保存整備事業の実施に際し、「名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会」を平成30年度に設置した。事務局を文化スポーツ部歴史文化課とし、庭園及び建造物の学識経験者4名で委員を構成した。令和4年度は、会議を1回開催した（第7回）。

検討委員会の開催経過

	開催日	内容
第1回	平成30年 8月10日	○委員長選出 ◆協議事項 (1) 事業及び委員会スケジュールと計画書構成案 (2) 庭園課題の整理と基本方針 (3) 全体計画と庭園課題箇所の個別計画 (4) 庭園空間構造分析（視点場等分析） (5) 公開活用計画と動線計画 (6) 建造物の課題整理と修理方針 ○現地視察
第2回	平成30年 10月15日	◆協議事項 整備基本計画素案の確認、検討

第3回	平成30年 12月14日	○現地視察 ◆協議事項 (1) 建造物に関する整備計画検討 (2) 庭園に関する整備計画検討
第4回	令和2年 2月25日	◆報告事項 (1) 庭園に関する調査結果 (2) 建造物に関する調査結果 ◆協議事項 (1) 庭園に関する整備検討内容について (2) 建造物に関する整備検討内容について ○現地視察
第5回	令和3年 2月15日	◆報告事項 (1) 測量成果について (2) 本年度庭園工事の状況について（一部検討） ◆協議事項 次年度工事予定内容における検討事項について
第6回	令和4年 2月 (書面開催)	◆報告事項 (1) 測量成果について (2) 本年度庭園工事の状況について ◆協議事項 次年度工事予定内容における検討事項について
第7回	令和4年 12月1日	◆報告事項 (1) 庭園工事に関する整備状況について (2) 庭園に関する調査状況について (3) 旧齋藤家別邸擁壁について ◆協議事項 次年度工事予定内容における検討事項について ○現地視察

「名勝旧齋藤氏別邸庭園保存整備検討委員会」委員

氏名	所属等	役割
栗野 隆	東京農業大学教授、 元旧齋藤氏別邸庭園保存活用計画検討委員会委員	委員長
金出 ミチル	東京藝術大学大学院非常勤講師、同上委員	
松本 恵樹	春秋設計工房代表（作庭者松本亀吉子孫）、同上アドバイザー	
山崎 誠子	日本大学短期大学部准教授、新潟市文化財保護審議会委員	

アドバイザー：文化庁文化財第二課名勝部門文化財調査官 青木達司

オブザーバー：新潟県観光文化スポーツ部文化課主任調査員 山崎忠良

② 重要文化財旧笹川家住宅保存整備事業

ア 文化財の概要

名 称	重要文化財（建造物）旧笹川家住宅（表座敷及び台所ほか全11棟）
構 造 形 式	木造、延床面積1,789.7㎡、一階建及び二階建、銅板葺及び棧瓦葺ほか
建 築 年 代	江戸時代後期〔文政3（1820）年～慶応3（1867）年〕、明治時代
所 在 地	新潟市南区味方216番地
所 有 者	新潟市（南区役所地域総務課所管）
指 定 年 月 日	昭和29年3月20日、昭和53年5月31日、平成3年5月31日

イ 経 緯

平成29年3月に策定した『重要文化財旧笹川家住宅保存活用計画』に基づき、平成30年度から令和2年度にかけて文化庁国庫補助事業として耐震基礎診断を実施し、耐震補強の方針を決定した。令和3年度は、耐震基礎診断の結果を踏まえ、整備内容及びスケジュールについて関係課と協議を行った。

ウ 令和4年度事業概要

令和4・5年度の2か年で整備基本計画（耐震補強及び保存修理計画、防災設備改修計画、活用整備計画、事業費概算等）を策定することとし、1年目の令和4年度は、破損状況の把握等の予備調査を実施し、関係課及び委託事業者と修理方針等の検討を行い、整備基本計画の原案を作成した。

③ 天然記念物鳥屋野逆ダケの藪の大規模開花

ア 概要

120年に一度とも言われるハチクの開花は、鳥屋野逆ダケの藪において令和元年5月に初めて確認された。開花後の様子については、森田龍義氏（新潟大学名誉教授）による詳細な調査の成果が報告されている（『令和元年度新潟市文化財調査概要』）。その後、令和4年に大規模な開花が確認されたため、これまでの経緯と大規模開花について報告する。

イ これまでの開花の経緯

令和元年	5月上旬、園路北西部及び南西部で8本の林冠竹・林冠未到達の竹（標準的な太さ・長さ）の開花を確認。枯竹や開花している竹の付近で、再生竹（笹のように細く、丈の低い竹）の発生も確認される（未開花）。
令和2年	5月末、前年に開花した竹の一部が再度開花していることが確認。 6月上旬、園路北西部で前年未開花の再生竹の開花や新たな再生竹（未開花）の発生が確認された。 林冠竹・林冠未到達の竹の新たな開花は見られなかった。
令和3年	6月上旬、園路北西部で、前年開花した再生竹の全個体が再度開花しているのが確認された。園路南西部においては、前年開花した再生竹の大部分が枯死し、少数の個体のみ再度開花が確認された。また、前年に再生竹の開花が見られた範囲で、別個体（再生竹）の新規開花が確認されたが、林冠竹・林冠未到達の竹の新たな開花は見られなかった。

ウ 令和4年の大規模開花

令和4年1月に西門付近で林冠竹・林冠未到達の竹の開花が確認された。その後、森田龍義氏（新潟大学名誉教授）、逆ダケ愛護の会へ調査と経過観察を依頼し、4月～8月にかけて西側外周のほとんどの竹（約400本）が開花したことが確認された。竹は10月には全て葉を落とし、稈（竹の幹にあたるもの）は黄色に変色し枯死した。

開花は全体の一部でしか確認されていないが、近年の全国的なハチクの開花の報告や研究者の予測から、開花現象は今後も続くことが予想されるため、引き続き経過観察を継続する。



開花の状況（西門付近）



開花した個体

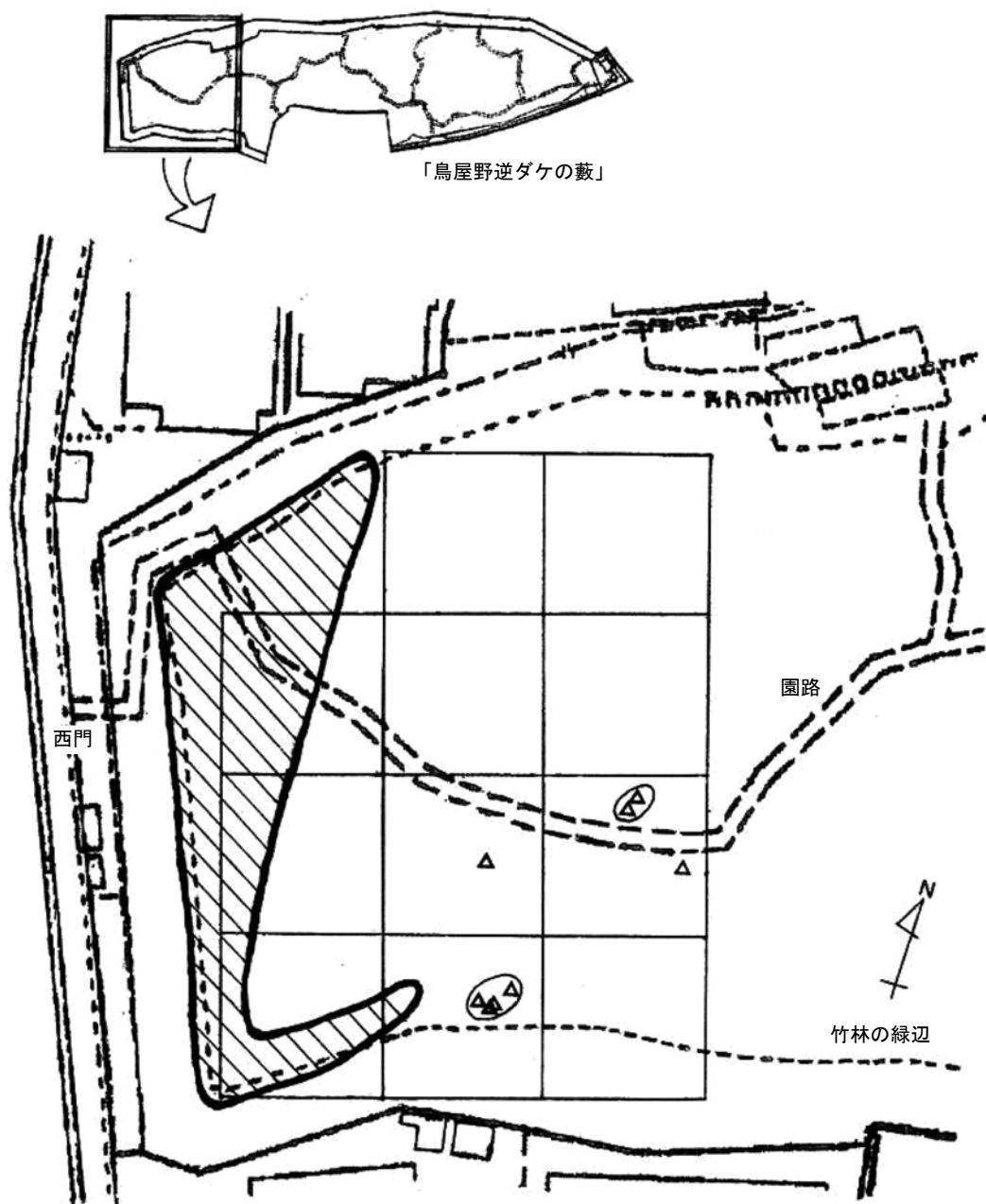


図 「鳥屋野逆さ竹の藪」の開花状況（正方形は10m×10m）
 △は、2019年に開花した稈（8本）
 太線で囲んだ斜線部は、2022年の開花範囲（約400本）

森田龍義氏提供

[参考文献]

森田龍義「国指定天然記念物「鳥屋野逆ダケの藪」の開花」（新潟市教育委員会『令和元年度新潟市文化財調査概要』2020年）

④ 天然記念物鳥屋野逆ダケの藪指定100周年記念事業

ア 概要

鳥屋野逆ダケの藪が、大正11（1922）年に国の天然記念物に指定され100周年を迎えたことを記念して、これまで文化財の保護に尽力されている地域や学校の取り組みを紹介するとともに、逆ダケの理解を深めるために講演会を開催した。

イ 内容

「もっと知りたい！ 鳥屋野のお宝 逆ダケの藪」

日 時：令和4年10月29日（土）10時00分～11時40分

会 場：鳥屋野小学校体育館

参加人数：120人

共 催：鳥屋野校区コミュニティ協議会・鳥屋野小学校学校運営協議会

ウ 日程

（ア）開会あいさつ（市長）

（イ）逆ダケの藪愛護の会の活動紹介（逆ダケの藪愛護の会）

（ウ）鳥屋野のお宝！大発見！！（鳥屋野小学校3年生）

（エ）講演会「逆ダケのふしぎ」

講 師 森田龍義 新潟大学名誉教授

（オ）閉会あいさつ（鳥屋野校区コミュニティ協議会）

※コーディネーター 坂井秀弥 新潟市歴史博物館館長



森田龍義先生の講演



鳥屋野小学校3年生の掲示物

⑤ 天然記念物鳥屋野逆ダケの藪の雪害対応

ア 概要

令和4年12月18日（日）から19日（月）にかけての大雪により、竹藪全体が雪に覆われている状況を確認した。雪の状況が落ち着いた令和5年1月5日（木）に現地確認を行い、藪地内の中央部分の竹の折損と周囲を囲む四ツ目垣の倒壊を確認した。

イ 経過

被害については、12月20日（火）午前には日常管理を委託している逆ダケの藪愛護の会より連絡を受け、現地へ向かい竹藪全体が雪に覆われている状況を確認し

た。翌日も状況が変わらなかったため、12月22日（木）から23日（金）にかけて道路や隣接地に影響を及ぼしている竹藪周囲のみ雪払いを実施した。残雪が多く、敷地内部の状況確認が困難であったため、雪の状況が落ち着いた令和5年1月5日（木）に被害確認を行ったところ、広範囲に及ぶ竹の折損を確認した。また、竹藪を囲う四ツ目垣（約100m）の雪による倒壊も確認され、令和5年1月16日（月）に毀損届出書を文化庁へ提出した。

雪解け後の3月下旬に、安全確保と竹藪の保護のため、南側四ツ目垣の撤去と仮設ネットの設置、市道沿いの倒れた竹の処置を行い園内への立ち入りを制限した。

ウ 被害状況写真



南側四ツ目垣倒壊箇所
（令和4年12月23日撮影）



西門竹折損箇所
（令和5年1月5日撮影）

⑥ 動く市政教室

文化財所在地を市の専用バスを利用して市民に見学してもらう取組で、広聴相談課と連携して例年1回ないし2回の教室を実施している。文化財そのものや文化財保護行政への理解の深化をねらいとする。

ア 開催日・参加人数

令和4年9月14日（水）15名、9月29日（木）15名（同じコースで2回実施）

イ テーマ 「みなとまち新潟をタイムトラベル～文化財の見どころ解説～」

中央区にある明治～昭和初期の文化財を見学しながら、みなとまち新潟の歴史に触れるとともに、文化財保護に関する市の取組について理解を深めることを目的とした。

ウ コース

名勝白山公園見学 → 重要文化財旧新潟税関庁舎・石庫見学 → 新潟市歴史博物館企画展（むかしのくらし展）見学 → 国登録有形文化財旧第四銀行住吉町支店見学・昼食 → 国登録有形文化財新潟大学旭町学術資料展示館見学 → 旧齋藤家別邸（名勝旧齋藤氏別邸庭園）及び周辺地区見学

エ 成果

動く市政教室では、参加した市民にレポートを提出していただいている。それによると、「子どものころ遊びに行った白山公園が、明治初期に造られたのは知らなかった。」「新潟大学旭町学術資料展示館は初めて見学した。建物自体に歴

史的価値があり、人骨や昔の試験器具、アニメの中間素材など、多岐に渡る研究成果を見ることができ驚いた。」「説明する方の熱心さが伝わり、専門的な解説によって新たな発見ができた。」等の感想が寄せられ、市民が関心を広げ、理解を深める機会とすることができた。また、「旧新潟税関庁舎の塔屋や石庫内部を見学できて良かった。」「旧第四銀行住吉町支店の建物が好きなので、食事会場で良かった。」等、特別な体験に関する評価も高かった。



新潟大学旭町学術資料展示館見学の様子



旧齋藤家別邸見学の様子

⑦ 市政さわやかトーク宅配便

市内の団体・グループ等からの派遣要請に応じて出前講座を行う取組で、企画・文化財担当職員が文化財保護制度の仕組みや新潟市内の文化財について解説した。令和4年度は、市内2か所で計2回、計58名の市民を対象に実施した。

⑧ 新潟市文化財保護調査事業費補助金の交付

令和4年度は2件の事業に対し補助金の交付を行った。

ア 新潟市指定文化財「ひさかき清水」修繕事業

- (ア) 補助事業者 妙本寺
- (イ) 補助対象経費 192,500円
- (ウ) 補 助 額 96,000円（補助対象経費の50% ※千円未満切捨）
- (エ) 事 業 期 間 令和5年2月15日～3月15日
- (オ) 事 業 概 要

「ひさかき清水」は秋葉区田家の妙本寺境内南端にある湧き水で、妙本寺開山（1720年頃）以来寺用として利用されてきたほか、地域住民の生活用水としても利用されてきた。かつてこの清水の脇にひさかきの老樹があり清水を覆っていたことから「ひさかき清水」と呼ばれている。

日常管理は清水を利用している田家一丁目町内会が主に行っている。

排水不良のため周辺に常に水がたまり、衛生的に好ましい状態でなかったため、排水溝を設置して保存環境を改善した。

イ 新潟市指定文化財「山口家の大たぶの木」樹勢回復事業

- (ア) 補助事業者 山口 樹
(イ) 補助対象経費 121,000円
(ウ) 補 助 額 60,000円 (補助対象経費の50% ※千円未満切捨)
(エ) 事業期間 令和5年3月1日～3月20日
(オ) 事業概要

「山口家の大たぶの木」は西蒲区山口新田にある推定樹齢200年のタブノキである。高さが約15m、幹の周りが3mあり、平地地帯でこれほど大きなタブノキは珍しいといわれている。

幹にキノコが生えるなど木材腐朽菌の繁殖がみとめられ、適切な処置を行わなければ枯死するおそれがあったため、樹勢回復を目的として、地面に穴をあけ中に牛糞と遅効性固形肥料を混ぜ込む方法で土壌改良を行った。

本文化財は、樹木医より3か年程度継続して土壌改良を行うことが望ましいとの見解を受けていたことから、令和2年度、令和3年度に引き続き、3回目の土壌改良を実施した。3か年の土壌改良の結果、幹の下部より多数の若枝が発生する等、一定の樹勢回復が確認された。

また、幹の内部が一部空洞化していることから、補助事業とは別に、所有者が倒木防止措置を行った。樹木に伸縮性のあるロープを取り付け、強風等で瞬間的にかかる強い負荷が低減されるようにした。

補助事業は本年度で終了となるが、樹勢維持のため、今後も継続して状況確認を行うこととする。



若枝の発生（山口家の大たぶの木）



伸縮性のあるロープの取り付け

3 埋蔵文化財

(1) 概要

① 埋蔵文化財保護関係事務

新潟市の埋蔵文化財保護行政は、歴史文化課と文化財センターで所管している。

事務分掌としては、歴史文化課では開発調整・試掘確認調査・工事立会・史跡に関する事項（史跡古津八幡山遺跡を除く）を担当し、文化財センターでは本発掘調査・保存処理・出土品整理活用（再整理・公開普及・資料展示貸出など）・史跡古津八幡山遺跡に関する事項を担当している。

開発調整では、国・県・市が行う公共事業や民間の開発行為・農振除外・農地転用・建築確認・不動産鑑定などに伴う申請・届出・照会等に対する事前審査を行い、「新潟市試掘確認調査基準」（平成19年4月1日）に基づいて試掘確認調査の可否を判断している。

令和4年度の審査件数は11,017件（うち民間事業9,633件、公共事業1,384）であった。前年度の11,501件と比べ、民間事業では422件の減、公共事業では62件の減となり、全体としては484件の減であった。

審査の結果、文化財保護法上の取り扱いとなったものは、法93条（民間事業）関連136件で昨年度比13件の減、法94条（公共事業）関連52件で昨年度比19件の増であった。

② 試掘確認調査・工事立会

各種開発に先立ち、開発地における遺跡の有無や範囲等を把握し、埋蔵文化財保護協議の資料を得ることを目的に試掘確認調査を実施した。また、工事による遺跡への影響が軽微な場合は工事立会で記録を作成した。令和4年度の試掘確認調査の件数は表1に示した。

なお、令和4年度の試掘調査で2遺跡（No.827本地遺跡・No.828川根谷内東遺跡）が新たに発見された。新潟市内の遺跡数は欠番を除き令和4年度末で810箇所となった。

表1 令和4年度の試掘確認調査件数

区名	調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
北 区	民 間		3	1				1	1	1	1			8
	公 共				1									1
東 区	民 間		1								2			3
	公 共													0
中央区	民 間												1	1
	公 共				1									1
江南区	民 間	1	2	2	5	1	4	2	1				1	19
	公 共			1					4			1		6
秋葉区	民 間		1									2		3
	公 共							3		1	1			5
南 区	民 間		2											2
	公 共													0
西 区	民 間						1			1		1		3
	公 共							1					1	2
西蒲区	民 間			1	1	1		2	2	1				8
	公 共								3					3
合 計	民 間	1	9	4	6	2	5	5	4	3	3	3	2	47
	公 共	0	0	1	2	0	0	4	7	1	1	1	1	18
	合 計	1	9	5	8	2	5	9	11	4	4	4	3	65

③ 本発掘調査

令和4年度の本発掘調査は表2のとおりである。

表2 令和4年度の本発掘調査（現地調査）

遺跡名 区 名	原 因	調査面積 (㎡)	調査の概要	備 考
てらうら 寺裏遺跡 西蒲区	県営ほ場整備事業（経営体育成基盤整備事業馬堀地区）	984.0	<p>県営ほ場整備事業に伴い用排水路工事部分の北部路線部と田面切り下げ工事部分の南部を対象に調査を実施した。</p> <p>遺構は溝状遺構9条、井戸7基、耕作関連遺構2面、掘立柱建物1棟、土坑2基、ピット17基、性格不明遺構1基が確認された。溝状遺構は北部および南部中央部に集中が見られ南北方向に主軸を持つものが多数を占める。北部のSD 1・SD 8は、畦畔状の高まりおよび耕作関連遺構を伴う。井戸およびピットは南部のみで確認された。遺物は珠洲焼(13c後半～15c代)、唐津焼(16c末～17c前半)、瀬戸焼、石製品（砥石、石臼）、木製品が出土した。遺構は唐津焼を伴うものが主体となり、室町時代に限定できるものは確認されなかった。</p> <p>調査の結果、寺裏遺跡は埋没した旧自然堤防上に立地し、小規模な集落と水田跡からなる、室町時代中期～江戸時代初期にかけての遺跡と考えられる。</p>	<p>発掘調査 番号 2022001</p> <p>自然堤防上に立地する遺跡</p>
ちやいんえい 茶院 A 遺跡 西蒲区	県営ほ場整備事業（経営体育成基盤整備事業打越地区）	2,530.8	<p>県営ほ場整備事業に伴い3本の用排水路工事部分を対象に調査を実施した。</p> <p>遺構は、掘立柱建物2棟、竪穴状遺構、土坑、溝が確認された。いずれも古代と考えられる。遺物は「宅」と書かれた墨書土器を含む須恵器・土師器のほか、掘立柱建物を構成する木柱などの木製品が出土した。</p> <p>調査の結果より、奈良時代～平安時代初期にかけての集落跡と考えられる。また下層のⅪ層古墳時代の確認面では、木柱が確認されたが、土器は出土しなかった。古墳時代の遺跡は希薄と考えられる。</p>	<p>発掘調査 番号 2022002</p> <p>自然堤防上に立地する遺跡</p>

(2) 史跡の保存活用事業

以下、史跡古津八幡山遺跡ならびに新潟市古津八幡山遺跡歴史の広場（史跡公園・史跡古津八幡山弥生の丘展示館）にかかる保存活用事業の概要について記載する。なお、各事業の詳細については、新潟市文化財センターで毎年発行している『新潟市文化財センター年報』や『史跡古津八幡山弥生の丘展示館企画展関連講演会記録集』を参照されたい。

① 委員会・部会

古津八幡山遺跡の確認調査中、調査指導部会を1回開催し、委員から調査現場や出土遺物について指導を受けた。また、国史跡古津八幡山遺跡保存活用計画等推進委員会（以下、委員会）については、堅穴住居の災害復旧工事の進捗状況にあわせ、令和5年6月に開催することとした。なお、3月に令和4年度の事業報告を委員会・調査指導部会の委員へ郵送にて行った。



現地説明会の様子

② 古津八幡山遺跡確認調査

昨年度に引き続き遺跡北東域の史跡指定地外において確認調査を実施した（第25次調査）。昨年確認した3基の埋葬施設を持つ方形周溝墓(SZ743)については、さらにもう1基埋葬施設が見つかり、計4基の埋葬施設を持つことが明らかになった。また、4基のうちの中心埋葬施設は「木槨」構造の埋葬施設と推定された。さらに、周辺で新たに方形周溝墓1基が確認され（SZ822）、調査域が墓域として利用されていたことが判明した。調査成果については、令和4年10月8日（土）に現地説明会（60人参加）を行ったほか、令和5年2月26日（日）に文化財センター主催の遺跡発掘調査速報会（165人参加）で報告した。平成29年から実施してきた確認調査はいったん終了し、令和6年度に発掘調査報告書を刊行する予定である。

③ 整備事業

令和3年1月の大雪・強風によって毀損した復元堅穴住居4棟の災害復旧工事を実施し、年度内に全て完了した。なお、工事期間中に一般向けの現地見学会を開催した。

④ 活用事業

弥生の丘展示館の年間来館者数は27,872人であった。前年度に比べて微増となったものの、新型コロナウイルス禍前の6～7割程度で、令和2年度以降入館者数は2万人台にとどまっている。団体利用は市内の小学校を中心に21団体、541人の利用があった。また、体験イベントは14事業を実施し250人の参加があった。企画展は2回開催した。期間中、担当者による展示解説を3回行い、計47人の参加があった。さらに、企画展関連講演会を2回開催し、計118人（うちオンライン聴講者43人）の参加があった。なお、遺跡発見35周年、展示館開館10周年、隣接の新津美術館開館25周年を記念して、弥生の丘展示館で「古津八幡山遺跡の過去・現在・未来」を、新津美術館で「美術と考古でみる、ここらへんの生活。」を、それぞれ記念事業として共催した。



新津美術館企画展での両館学芸員によるクロストークの様子

(3) 文化財センター活用事業

文化財センターでは市民の方が開館中であればいつでも見学できる展示室を設けているほか、考古学・民俗学に関する講座・イベント等を開催している。令和4年度の来館者数は6,666名であった。なお、各事業の詳細については、新潟市文化財センター発行の『新潟市文化財センター年報』を参照されたい。

① 団体利用

団体利用は47団体1,632名の利用があった。このうち小学校は26校が利用し、のべ1,314名であった。昨年度（全体2,103名、小学校1,665名）に比べ人数は減少しているが概ね回復傾向にあるといえる。なお、小学校は3学年「むかしのくらし」と6学年「大昔のくらし」の社会科単元での利用が中心である。

② 企画展

調査が行われた、あるいは報告書が刊行された市内の遺跡をメインにテーマを設定し、年2回の企画展を開催した。

③ 講座・イベント等

歴史を身近に感じてもらうため、募集型の講座やイベントを9回開催した。また、個人向けに申し込み不要で勾玉づくりや弓矢などの体験が可能なコーナーを設けており、のべ1,460人の利用があった。引き続き感染症対策に配慮して対応した。この他、遺跡発掘調査速報会や企画展関連講演会では、会場の定員を減らし、オンラインによる同時配信を行うハイブリッド方式で開催した。

④ 出前講座・職員派遣

市民団体や学校からの依頼に応じて文化財センター職員が出向き、遺跡や歴史についての解説や体験を行った。令和4年度は、27団体計1,079人の利用があった。このうち小学校は14校であった。これらは、広聴相談課の市政さわやかトーク宅配便の制度を利用したものを含んでいる。

⑤ 資料の利用・貸出

文化財センター内で考古・民俗資料の熟覧・実測・撮影を行う特別利用が11件、企画展等での考古資料の短期貸出が10件、文化財センターが保管する写真や報告書掲載資料の掲載依頼が19件あった。

⑥ 現地説明会

発掘調査の成果を一般に公開するための現地説明会を寺裏遺跡（9月23日（金）開催）・茶院A遺跡（10月15日（土）開催）で行い、計196名の参加があった。



遺跡発掘調査速報会（令和5年2月）

Ⅱ 文化財調査報告

国登録有形文化財「小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋」について

平山 育男

1 はじめに

「^{れいがん}霊雁の湯」とも呼称され、北国街道に沿いに位置する新潟市西蒲区の岩室温泉は江戸時代中期における開湯とされる。岩室温泉は弥彦神社参拝の宿場地としても栄え、現在は新潟の奥座敷とも呼称されている。

岩室温泉に所在する^{こかしや}小鍛冶屋から長岡造形大学へ国登録有形文化財をめざした歴史的建造物調査の依頼があり、令和3（2021）年度に主屋について建築調査及び文献調査などを実施した。建築調査においては配置図、平面図、断面図、痕跡図、復原平面図などの作成、写真撮影、聞き取り調査などを行い、建物の来歴などを調べる一方、文献調査においては岩室温泉を含め、施設の総合的な調査を実施した。その結果、建物は、これらの調査結果に基づき、令和4（2022）年10月31日付で官報に告示され、「小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋」として国登録有形文化財とされるに至った。

本稿は、国登録有形文化財となった小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋について、一連の調査結果に基づいて明らかとなった主屋の来歴、施主などについて報告を行うものである。

2 小鍛冶屋の概要

小鍛冶屋の敷地は、岩室温泉を貫く市道に面し、「岩室」交差点の南西角に位置する。

矩形となる敷地の間口は17m程、奥行は27m程となり、主屋は東正面側から平入の前座敷、後座敷が建ち、これらと妻入の居室棟が交差する形式で、背面に物置が配される。

「小鍛冶屋」の名称は、もともこの建物の所有者が岩室温泉に所在する高島屋の分家で、本家がかつて鍛冶屋であったことに因むとされる。建物は近年まで住宅として使われたが、平成25（2013）年からは創作イタリア料理店KOKAJIYAとして活用されている。

3 主屋の概要

・配置と形式、規模

主屋は市道に面する建物で、正面側から順に、前座敷、この背面に並行する後座敷、前座敷と後座敷に直交する居室棟が1棟となる構成である。

主屋の前座敷は切妻造桧瓦葺平入の形式で、木造2階建、規模は間口となる桁行が7間半、奥行となる梁行が3間半となる。後座敷は切妻造桧瓦葺の形式で前座敷背面に接続す



写真1 小鍛冶屋主屋 北東より



写真2 主屋外観 北東より



写真6 前座敷1階 座敷 南西より



写真3 主屋外観 南東より



写真7 前座敷2階 座敷 北東より



写真4 主屋外観 北西より



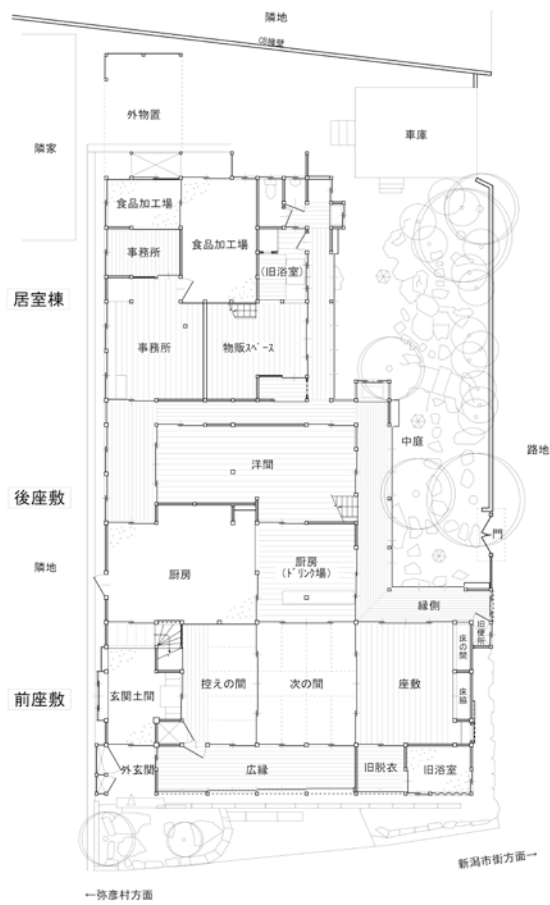
写真8 後座敷2階 南和室-北和室 南東より



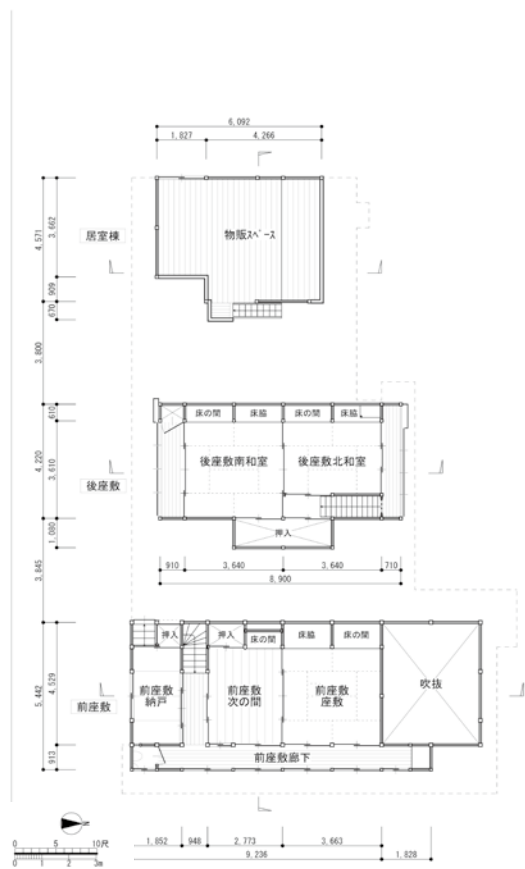
写真5 前座敷1階 控えの間 北東より



写真9 居室棟2階 物販スペース 南東より



1 階平面配置図



2 階平面図

図 1 小鍛冶屋主屋 平面図 [mm]

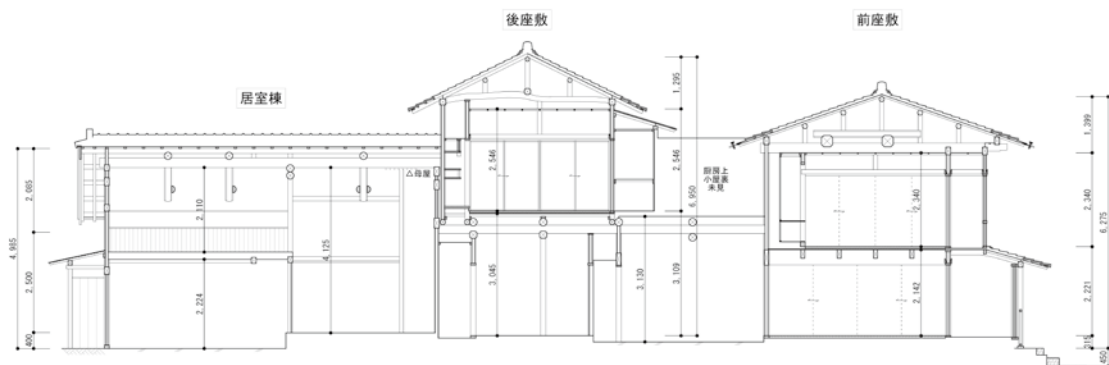


図 2 小鍛冶屋主屋 奥行方向断面図 [mm]

るもので、木造2階建、規模は間口となる桁行が5間、奥行となる梁行が3間となる。居室棟は後座敷の背面に更に接続する切妻造棧瓦葺妻入となる形式の建物で、木造一部2階建、規模は間口となる梁行が4間半、奥行となる梁行が5間となる。全体で主屋は間口13.5m、奥行22.8mの規模となる。

・平面

主屋は街道に面し前座敷の南側に入口を開くもので、正面側から、前座敷、後座敷、居室棟により構成される。

前座敷には建物に向かって左側に入口を持つ左勝手となるもので、1階は土間上手に1列で3室を配し、上手座敷表に風呂場を設けた。1階は玄関を入り1列で下手から控えの間7帖半、次の間10帖、座敷10帖の3室を配する。控えの間、次の間前に幅1間の広縁が取り付き、座敷前では脱衣所及び浴室となる。2階は玄関脇の階段で登り、中廊下を挟み下手に4帖広さの納戸、上手には次の間6帖、座敷8帖を配し、正面側に半間幅の廊下を通す。

後座敷の範囲は、前座敷背面の奥行方向となる梁行4間半、桁行5間及び北側半間の廊下となる。平面は1階表側下手が厨房、上手がカウンター、裏側は下手の1間が板の間とし残りは1室の洋間で、背面に中廊下、上手に廊下を配する。2階へは1階上手の廊下に面する階段から上ることとなる。2階は二室の構成で階段表側に押入を配し、下手が8帖、上手が6帖で、いずれも奥行2尺程となる浅い床、棚などを構え、上手、下手にいずれも廊下を配する平面となる。

居室棟は後座敷の背面に続く。居室棟1階は事務室、展示室、便所、土間、2階は物販展示室とされている。

・構造形式など

前座敷の小屋組は京呂の和小屋組で、屋根は当初における板葺石置の構成を留める。

後座敷は2階床下で梁を井桁に組んで2階を乗せ、小屋組は京呂の和小屋組とする。

居室棟は地棟に登梁を渡す。登梁は背面側2間半では3つ割、即ち5尺程の間隔で配されるため、北側面で梁尻は枕梁が受ける構成となる。

このように、前座敷、後座敷、居室棟はそれぞれ異なる、特徴的な構造形式を示すこととなる。

4 主屋居室棟の建設年代及び復原考察

・建設年代

前座敷は小屋組、2階下手の部屋床板などにおいて和釘と洋釘の併用を確認したため、明治10（1877）年代後半頃の建築と判断することができた。なお、建物は斜め向かいの家からの移築とも伝承されるが、古写真より少なくとも明治時代末期からこの敷地に建つことが確認できる。また、小屋裏には無記名となる1本の幣串が残されていた。

後座敷は、後述するように2階柱の養生紙に、大正3（1914）年11月の新聞紙が見出された。そのため大正時代前期の建築と判断することができた。なお、小屋裏には3本組の幣串が残されていたが無記名であった。

居室棟からは建築年代を示す1次資料は見出されなかったが、居室棟では和釘が用いられており、主屋では最も煤けが進んでいるため、江戸時代末頃の建築と判断した。

・復原考察

即ち主屋は元々、江戸時代末期頃、切妻造妻入の形式で前面の公道まで続く居室棟が建てられ、明治時代になって正面側に前座敷が配され、大正時代前期に至り、後座敷部分の増築があったと判断することができる。前座敷は当初、板葺石置の構成であるが後に棧瓦葺に改められた。前座敷で用いられる瓦が後座敷と同じ刻銘を持つため、後座敷の建築に前後して前座敷における改装があったと判断することができる。

5 前座敷の釘について

前座敷においては各所で和釘と洋釘の使用を確認することができた。加えて、同一部材に対しての据付に対して和釘と洋釘の併用を認めたのは以下の箇所である。

・2階天井吊束受

2階においては、天井は吊り束を敷梁間に渡した束受へ対して、釘止めるものであった。この内、この束受を敷梁に止める釘について、1箇所では和釘と洋釘が合わせて用いられる混用の箇所を確認することができた。

・2階次の間床板

2階次の間では現在、畳が撤去されている。この部屋では梁行に2枚、桁行10枚、都合20枚の床板が張られ、1階の控えの間の根太天井を構成する板張りを観察することができる。この板張りは部屋周囲では敷居下の箇所などにおいて釘止めがなされるため、釘の種類の特定は難しいが、部屋中央の桁行筋では、使われる釘の確認を行うことができる。

それを示したのが図3である。

これによると、各板の両端では多く洋釘が用いられ、その間に和釘が用いる、とする傾向が見られるものの、必ずしも全ての板においてそのような法則性は見られず、和釘と洋釘の混用がなされたと判断することができる（写真10）。

これまで筆者らの研究によると、明治10（1877）年代後半を中心に、和釘と洋釘を併用した建築を全国において広く確認している^{注1}）。つまり、小鍛冶屋の前座敷もそのような建築の1つとすることができるのである。

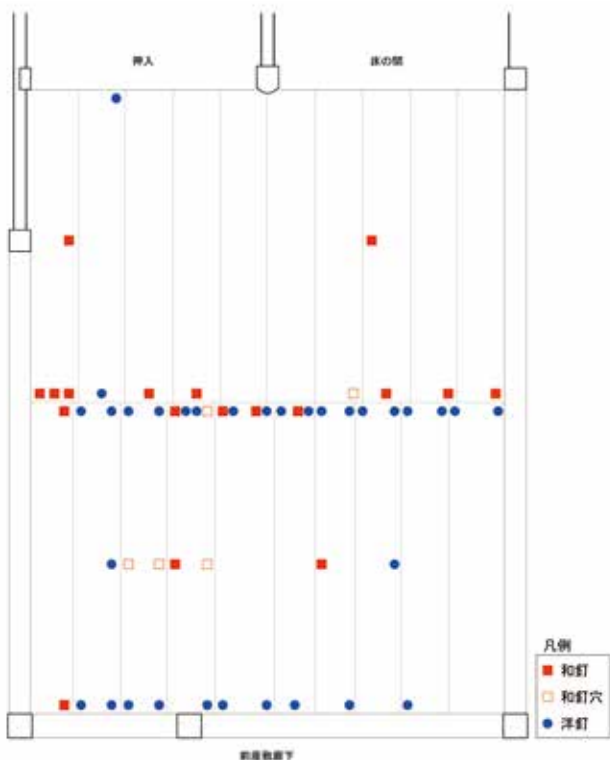


図3 前座敷2階次の間床板における釘の使用



写真10 前座敷2階次の間床板における和釘と洋釘

6 後座敷の増築について

後座敷が増築であることは既に述べた通りであるが、建物内で一見したところ、その痕跡はほとんど見出すことができない程、巧妙に行われている。以下では、後座敷増築の方法とその時期の根拠である柱の養生紙について言及しておきたい。

・後座敷増築の方法

後座敷の2階床組を観察すると、基本的には梁行となる南北方向4間半に丸太材を渡し、これに直交させて桁行5間に梁を掛ける構成とする。なお、主要部分では梁行材を二重に組み、この井桁が後座敷の2階を受けることになる。但し、2階の柱はこの井桁交点の梁行材上端には立たない。建物を観察すると、まずは後座敷の建つ梁行4間半について、背面の住居部部分を除去し、その後、前座敷一居室棟に梁行方向の井桁材を組み、居室棟東端となる柱に際に接して後座敷2階西端の柱を立てている。

即ち、後座敷2階西端の柱は、居室棟東端の柱を継いだのではなく、居室棟の東端柱筋東面へ、後座敷西端筋となる床の間背面の柱筋西面を面合わせで立てるため、結果として後座敷2階西端の柱筋は、居室棟東端の柱筋真と、柱1本分東側へずれることになる。そして、後座敷の床の間の奥行は610mmとやや浅いため、西側部屋境の柱筋は桁行に配される井桁材の西側に配される一回り細い丸太材の位置となり、ここに西側部屋境柱が立つ。また、東側の部屋境筋も同様に桁行に配される井桁材筋からずれ、西側際に配される丸太材の位置となる。

つまり、後座敷は増築に伴い、まずは後座敷部分を除去し、前座敷一居室棟間に井桁を配して後座敷2階の床組を受ける構成となるが、後座敷2階の柱は、居室棟の柱を継いだのではなく、居室棟柱筋の東側に接する形で柱筋を決めたため、後座敷2階の桁行柱筋は、後座敷1階の柱筋とは、居室棟接続部分では柱1本分、東側へずれることになる。

このように、後座敷の1階と2階において柱列が悉くずれることは、両階を望見した範囲において知ることは甚だ困難である。これは断面図を作成し、各階の柱間を精緻に検討して初めて判明する事実である。また、後座敷の増改築に際して、既存の建物に対しては、既存の建物を撤去した痕跡をほとんど確認することはできない。その面で、後座敷の建築は見事になされたと言うしかない。

・養生紙について

つまり、後座敷の増改築とは、居室棟側からすれば、前座敷と居室棟の背面側5間半を残して切断し、ここに後座敷を建築したと言い換えることができることになる。そして、後座敷2階では、居室棟の柱に対して隣合わせに後座敷の柱を立てていることが、居室棟側の小屋裏から、かろうじて確認することが適う。

ところで居室棟事務室小屋裏側から後座敷8帖西面外側を観察すると、一部の柱には養生紙として新聞紙の残されていることを確認した。当該の柱は8帖床柱筋外側の柱で、この西面に養生紙を残した柱が立つことになる。

養生紙は用紙の劣化が著しく、煤けが進んで文字の判読の難しい部分が多かった。但し、一部で「大正三年十一月七日」の日付を確認することができた(写真11)。なお、この柱を室内側で観察しても、養生紙を見出すことはできなかった。

筆者らはこれまでも養生紙に新聞紙を用いる事例を複数例確認している。その事例は、新潟市江南区北方文化博物館大広間棟において明治18(1885)年2～4月付の紙面^{注2)}、同じ

く北方文化博物館湯殿において明治27（1894）年2月1日付紙面^{注3}などを見出しており、いずれも日付からさほど日数を経ない時期における建築が確認されている^{注4}。

7 古写真にみる小鍛冶屋の姿

ここでは、小鍛冶屋の姿を古写真により確認しておきたい。

・絵葉書

〔概要〕

絵葉書「岩室村矢川橋ヨリ松岳城ヲ望ム」は、柏崎市立図書館「小竹コレクション絵はがき」に納められるもので、図書館からは電子データの提供を受けた（写真12）。

この絵葉書では写真面下部に

岩室村矢川橋ヨリ松岳城ヲ望ム

とする和文の説明とともに

VIEW OF MATSUDAKE CASTLE FROM YAKAWA BRIDGE, IWASHITSU.

とする英文の解説が付される。写真は岩室温泉街の東側を流れる矢川の矢川橋右岸から西側に延びる道路の方向を向いて、温泉街背後に聳える松岳を望んだものとなる。

写真の近景には矢川橋、向かって左側には3階建となる「大橋屋」の建物が写り込む。中景には街道両脇に建ち並ぶ建物が示され、多くが切妻造妻入でほとんどが板葺石置の屋根形式となる。そして遠景では道路奥に一段と高い梯子があり、頂部附近には梵鐘を確認でき、背後に松岳山を配する。

〔撮影年代〕

絵葉書では近景の矢川橋親柱に

明治四十年□月竣功

の文字を確認することができる。そのため、写真の撮影年代は明治時代末期から大正時代初期の撮影と考えることができる。

〔絵葉書に見る小鍛冶屋〕

写真の道路奥、梯子の背後に小鍛冶屋主屋の前座敷を確認することができる。そして、建

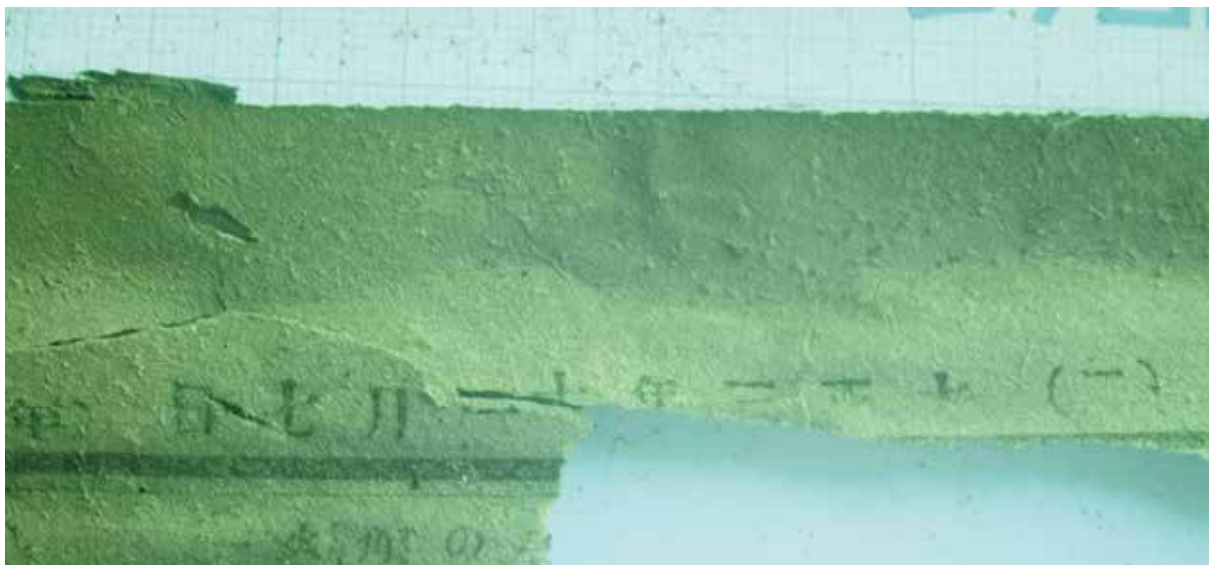


写真11 後座敷柱の養生紙 「大正三年十一月七日」の記載

物は2階北側部分が後退する特色ある形態となっている。

なお、屋根は陰影がはっきりしないため、板葺石置の形式から、現在の棧瓦葺に改められているとも判断できる。小鍛冶屋では、大正3（1914）年頃に後座敷の増築があり、ここで用いられたのと同じ刻銘を持つ瓦が前座敷でも用いられている。そのため、写真は既に後座敷の建築も済んだ大正時代前期頃の撮影とすることもできる。

・古写真

〔概要〕

昭和8（1933）年11月に発刊された『岩室村村誌』の口絵に

矢川橋ヨリ松岳山ヲ望ム

とする写真が掲載され、この遠景にやはり小鍛冶屋の特徴的な建物を確認することができる（写真13）。

〔撮影年代〕

『岩室村村誌』の発刊が昭和8（1933）年であるため、昭和時代初期の撮影と判断できる。

〔写真に見る小鍛冶屋〕

写真の道路奥に、小鍛冶屋主屋の前座敷を確認できる。

8 小鍛冶屋の住人

・小鍛冶屋の所在地

小鍛冶屋の住所は厳密には

新潟市西蒲区岩室温泉666番地

となる。

戦前期における資料を通覧すると、小鍛冶屋の所在する「岩室温泉666番地」の住人として、昭和10（1935）年12月に刊行された『温泉郷 岩室』巻末広告4頁において日本徴兵保険株式会社の岩室代理店として記される

岩室代理店主幹 高島幸蔵

西蒲原郡岩室村大字岩室六六六番地^{注5)}

とする記載を見出すことができ（図4）、これが戦前期における岩室温泉666番地における住人とすることができる。



写真12 明治時代の小鍛冶屋
柏崎市立図書館「小竹コレクション絵はがき」



写真13 大正時代の小鍛冶屋
『岩室村村誌』口絵 昭和8（1933）.11

なお、奥付によれば高島幸蔵はこの広告が掲載される『温泉郷 岩室』の編集者兼発行者^{注6)}でもある。つまり、この「高島幸蔵」こそが、現在の小鍛冶屋主屋の施主と判断することができるのである。

・「高島幸蔵」について

それでは「高島幸蔵」とは何者であったのだろうか。以下、高島幸蔵について考察を加えて行きたい。

まず、上述した『温泉郷 岩室』に通覧すると、高島幸蔵の名前は以下の箇所において見ることができる。

P66 祝岩室案内発刊 高島幸蔵^{注7)}

P69 岩室信購販利組合 全顧問 高島幸蔵^{注8)}

P70 村会議員 高島幸蔵^{注9)}

つまり、高島は昭和10（1935）年の時点において岩室信購販利組合顧問を始めとする職についていたことがわかる。

一方、戦前期の昭和8（1933）年にまとめられた『岩室村村誌』によれば

P82

村長 高島幸蔵 就職年月日 大正四、一、七、離職年月日、大正八、一、六、在職年数四ヶ年、住所 岩室 生年月日 明治七、五、五、^{注10)}

P83

助役 高島幸蔵 就職年月日 明治四四、三、三一、離職年月日、大正四、一、六、在職年数 三年十ヶ月、住所 岩室 生年月日 明治七、五、五、^{注11)}

P90

郡会議員 高島幸蔵 生年月日 明治七、五、五、 就職年月日 大正一一、三、二六、離職年月日、大正一五、六、三〇、摘要 郡制廃止迄任期延長其後自然消滅^{注12)}

とする記載を見ることができる。加えて岩室区長については大正13（1924）年から記録の残る昭和7（1932）年まで務めたとの記載がある^{注13)}。また、後述する大正2（1913）年刊の『岩室案内』においては

p31

岩室消防組役員 組頭 高嶋幸蔵^{注14)}



図4 『温泉郷 岩室』表紙と「日本徴兵保険株式会社」広告

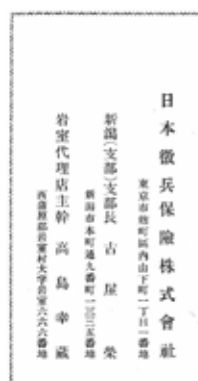


写真14 三代村長 高島幸蔵
『岩室村村誌』口絵 昭和8（1933）. 11

とある。なお、昭和4（1929）年刊行の『最新詳密 新潟県地価持銘鑑』によれば高島は田畑地価767.59円、山林原野地価34.46円、宅地地価289.33円、合計1,091.38円を所有すると記録される^{注15)}。

先掲した『温泉郷 岩室』は高島幸蔵が編集者兼発行者として務めたが、これに先行して大正2（1913）年に発刊された類書である『岩室案内』の編集者兼発行者も高島幸蔵であったことが分かる^{注16)}。『岩室案内』の「凡例」においては

一 本書は公務の余暇を偷み忽卒起草したるものなれば誤謬なきを保し難し識者の示教を待つ

とある。つまり、高島幸蔵は当時務めた、助役職の合間に、この書を編んだことになる。また、『温泉郷 岩室』の「発刊ノ趣意」においても

公務ノ余暇之ヲ有識ノ士ニ質シ霊泉ノ由来ヨリ名勝古蹟ニ係ル詩歌俳句ノ著シキモノヲ採録シ汎ク此地ニ来遊スル者ノ為メ今ニ覽テ古ニ溯リ風ヲ叙デ景ヲ写スニ補ハント欲シテ本書ヲ刊行スト云フ^{注17)}

としている。

つまり、高島幸蔵は明治7（1874）年5月5日に生まれ、明治44（1911）年から岩室村の助役、大正4（1915）年から村長、大正11（1922）年から郡会議員を勤めた地域の素封家であったとすることができる。

9 さいごに

新潟市西蒲区岩室温泉に所在する、小鍛冶屋主屋の建築調査から明らかとなるのは以下の諸点である。

- 1) 前座敷においては和釘と洋釘が併用されるため、前座敷は明治10（1877）年代後半頃の建築と判断することができる。また、前座敷は当初、板葺石置の形式をよく留め、大正時代前期頃、棧瓦葺に改められた。
- 2) 後座敷では柱の養生紙に大正3（1914）年11月の新聞紙を見出したため、建物は大正時代前期の建築と判断できる。後座敷は居室棟を切断して2階床組を丸太材で井桁状に組んで2階を設ける構成となり、1階と2階では梁行方向の柱筋がずれる。後座敷小屋裏では3本組となる無記名の幣串を確認した。
- 3) 居室棟では和釘の使用があり、煤けが建物では最も進むため、江戸時代末期の建築と判断することができる。居室棟では、地棟に登梁の構成で、小屋裏を広く用いる。背面側は5尺間隔で梁を配するため、北側では枕梁を用いる構成となる。
- 4) 小鍛冶屋の戦前期における住人は住所の一致から、高島幸蔵と判断できる。高島は戦前期、岩室村において助役、村長、郡会議員などを勤めた素封家であった。

以上より、戦前期における小鍛冶屋の住人は、明治7（1874）年生まれで、大正4（1915）年から大正8（1919）年に岩室村村長などを勤めた高島幸蔵であることが明らかとなった。高島と小鍛冶屋主屋の建築経緯を重ねて考えると、前座敷の建築年代となる明治10（1877）年代後半は、高島が未だ10代であるため、建築が高島家に関わるものであれば先代のものとなる。一方、大正時代前期と判断した後座敷の建築は、高島が村長となった時代に重なり、両者の密接な関係を想起できる。

注

- 注1) 平山、木村勉、御船達雄、梅嶋修、西澤哉子：和釘と洋釘を併用する建物、日本建築学会技術報告集、51、767～770頁、平成28（2016）.6
- 注2) 平山、西澤哉子：新潟市江南区沢海 北方文化博物館 大広間の建築年代、用いられる釘の種類、襖張替の年代 新潟市歴史的建造物調査（11）、日本建築学会北陸支部研究報告集61、468～469頁、平成30（2018）.7
- 注3) 平山、西澤哉子：新潟市江南区沢海 北方文化博物館 湯殿 新潟市歴史的建造物調査（13）、日本建築学会北陸支部研究報告集61、474～477頁、平成30（2018）.7
- 注4) 平山、梅嶋修：建材としての新聞紙の利用、日本建築学会計画系論文集、807、1787～1793頁、令和5（2023）.5
- 注5) 高島幸蔵：温泉郷 岩室、広告4頁、昭和10（1935）.12
- 注6) 高島幸蔵：温泉郷 岩室、奥付、前掲
- 注7) 高島幸蔵：温泉郷 岩室、66頁、前掲
- 注8) 高島幸蔵：温泉郷 岩室、69頁、前掲
- 注9) 高島幸蔵：温泉郷 岩室、70頁、前掲
- 注10) 後藤三男太郎：岩室村村誌、82頁、昭和8（1933）.11
- 注11) 後藤三男太郎：岩室村村誌、83頁、前掲
- 注12) 後藤三男太郎：岩室村村誌、90頁、前掲
- 注13) 後藤三男太郎：岩室村村誌、91～92頁、前掲
- 注14) 高島幸蔵：岩室案内、31頁、大正2（1913）.6
- 注15) 小林二郎：最新詳密 新潟県地価持銘鑑、242頁、昭和4（1929）.8
- 注16) 高島幸蔵：岩室案内、奥付、前掲
- 注17) 高島幸蔵：温泉郷 岩室、発刊ノ趣意、前掲

Ⅲ 資 料

1 国・県・市指定文化財、国登録文化財一覧表

(1) 国・県・市指定文化財（令和5年3月31日現在）

区分	No	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
国	1	有	建	旧笹川家住宅	11棟	S29.3.20 S53.5.31 H3.5.30	南区味方	新潟市	文政年間
国	2	有	建	新潟県議会旧議事堂附 棟札2枚	1棟	S44.3.12	中央区一番堀通町	新潟県	明治15年
国	3	有	建	旧新潟税関庁舎附 棟札1枚	1棟	S44.6.20	中央区緑町	文部科学省・新潟市	明治2年
国	4	有	建	種月寺本堂附 棟札2枚	1棟	H1.9.2	西蒲区石瀬	種月寺	元禄12年
国	5	有	建	萬代橋	1基	H16.7.6	中央区万代から中央区下大川前通・中央区川端町間	国土交通省	昭和4年
国	6	有	絵	絹本着色不動明王二童子像	1幅	S27.7.19	中央区沼垂東	法光院	鎌倉後期
国	7	有	彫	木造地藏菩薩半跏像	1軀	S12.5.25	秋葉区小須戸	茂林寺	南北朝期
国	8	有	工	彩磁禽果文花瓶 板谷波山作	1口	H18.6.9	中央区東大通	公益財団法人敦井コレクション	大正15年
国	9	有	書	雪村友梅墨跡梅花詩	1幅	S35.6.9	江南区沢海	一般財団法人北方文化博物館	南北朝期
国	10	有	考	越後国菖蒲古墳経塚出土品	一括	S37.2.2	中央区柳島町歴史博物館内	金仙寺・新潟市	平安後期
国	11	民	有民	金刀比羅神社奉納模型和船	28点	S40.6.9	中央区西甕島町	金刀比羅神社	江戸後期～明治中期
国	12	記	史	菖蒲塚古墳		S5.4.25	西蒲区竹野町	金仙寺 他・新潟市	古墳前期
国	13	記	史	旧新潟税関		S44.6.20 S55.2.19 H30.10.15	中央区緑町	文部科学省・新潟市	明治2年
国	14	記	史	古津八幡山遺跡		H17.7.14 H23.2.7	秋葉区金津、秋葉区古津、秋葉区蒲ヶ沢	新潟市 他	弥生～古墳
国	15	記	史	新津油田金津鉾場跡		H30.10.15	秋葉区金津	新潟市 他	明治初期～平成8年
国	16	記	名	旧齋藤氏別邸庭園		H27.3.10	中央区西大畑町	新潟市	大正9年
国	17	記	名	白山公園		H30.10.15	中央区一番堀通町	財務省・新潟市	明治初期
国	18	記	天	鳥屋野逆ダケの藪		T11.10.12	中央区鳥屋野	新潟市 他	
国	19	記	天	月潟の類産ナシ	1本	S16.11.13	南区大別當	個人・新潟市	樹齢約200年
国	20	記	天	ヒシクイ		S46.6.28	新潟県	新潟県	県全域
国	21	記	天	マガン		S46.6.28	新潟県	新潟県	県全域
県	1	有	建	諏訪神社本殿	1棟	S61.3.28	南区味方	味方自治会	慶長15年再建
県	2	有	絵	渭城柳色 大雅筆附 大雅書「渭城柳色」	1幅	S33.3.22	中央区東大通	公益財団法人敦井コレクション	延享元年
県	3	有	絵	絹本着色三千仏図	3幅	S44.3.25	中央区沼垂東	法光院	寛正7年
県	4	有	絵	絹本着色慈恩大師像	1幅	S47.3.28	中央区沼垂東	法光院	鎌倉末期
県	5	有	彫	木造菩薩立像	1軀	S27.12.10	中央区西堀通	瑞光寺	平安前期
県	6	有	彫	木造薬師如来坐像	1軀	S41.3.18	東区松崎薬師庵内	法光院	平安後期
県	7	有	彫	木造阿弥陀如来立像	1軀	S52.3.31	南区白根	西永寺	平安後期
県	8	有	彫	銅造観音菩薩立像	1軀	H21.3.24	西蒲区赤館	遍照寺	奈良
県	9	有	彫	木造伝島山重宗夫妻坐像	2軀	H21.3.24	中央区長嶺町	蒲原神社	建武元年
県	10	有	工	太刀（無銘）	1口	S40.4.7	江南区沢海	一般財団法人北方文化博物館	鎌倉末期
県	11	有	工	金銅装束	1背	R4.3.25	西蒲区石瀬	宗教法人 青龍寺	室町末期
県	12	有	書	南英謙宗墨跡書籍	22冊	S29.2.10	西蒲区石瀬	種月寺	室町後期
県	13	有	書	長善館学塾資料	一括283点	S42.3.25	中央区女池南県立文書館内	新潟県立文書館	江戸後期
県	14	有	書	桂家国学関係資料	一括508点	S42.3.25	中央区女池南県立文書館内 秋葉区中村	個人	江戸後期
県	15	有	古	堀直奇文書	56点	S39.3.22	西区五十嵐 新潟大学附属図書館内	国立大学法人新潟大学	江戸初期

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
県	16	有	古	市島家文書	16,528点	S47.3.28	中央区女池南 県立文書館内	新発田市・新潟県立 文書館	江戸～昭和期
県	17	有	古	渡部家文書	2,582点	H12.3.24	中央区女池南 県立文書館内	個人・ 新潟県立文書館	江戸中期～明治期
県	18	有	考	木崎山出土地鎮具	一括	S59.3.27	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県教育委員会	鎌倉
県	19	有	考	の場遺跡出土品	一括	H8.3.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	奈良・平安
県	20	有	考	五丁歩遺跡出土品	一括1,394点	H13.3.23	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県教育委員会	縄文中期
県	21	有	考	浦廻遺跡出土品	一括2,160点	H16.3.30	西区木場 文化財センター内	新潟市	鎌倉後期
県	22	有	考	上ノ平遺跡・吉ヶ沢遺跡出土品	一括1,103点	H17.3.25	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県教育委員会	後期旧石器時代
県	23	有	考	青田遺跡出土品	一括2,076点	H21.3.24	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県	縄文晩期
県	24	有	考	滝寺窯跡群・大貫窯跡群出土品	一括1,012点	H23.3.22	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県	平安時代
県	25	有	考	南赤坂遺跡出土品	110点	H25.3.26	西区木場 文化財センター内	新潟市	古墳前期
県	26	有	考	余川中道遺跡出土品	255点	H26.3.25	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県	古墳中期～後期
県	27	有	考	六反田南遺跡出土品	1,202点	H31.3.22	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県	縄文中期
県	28	有	考	佐渡貝塚群（堂の貝塚）出土人骨	1体	R2.3.27	新潟市中央区旭町通 新潟大学旭町学術資料展示館内	国立大学法人 新潟大学	縄文中期
県	29	有	考	延命寺遺跡出土品	457点	R4.3.25	秋葉区金津 県埋蔵文化財センター内	新潟県	飛鳥～奈良
県	30	有	歴	学塾三餘堂関係資料附 印章類125顆	一括	H9.3.28 H11.3.30	中央区女池南 県立図書館内	新潟県立図書館	江戸～明治
県	31	有	歴	新潟市上水道敷設関係資料	一括258点	H15.3.28	中央区学校町通 歴史文化課内	新潟市	明治中期～昭和初期
県	32	有	歴	亀田町上水道敷設関係資料	一括4点	H15.3.28	江南区茅野山 江南区郷土資料館内	新潟市	昭和初期
県	33	有	歴	新潟奉行川村修就関係資料	1,859点	H25.3.26	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸後期
県	34	有	歴	新潟県近代行政文書	2,465点	H29.3.21	中央区女池南 県立文書館内	新潟県	明治期～大正期
県	35	民	有民	大船絵馬	1面	S44. 3.25	中央区一番堀通町	白山神社	嘉永5年
県	36	民	風	越後の風合戦習俗	3	H27.3.24	南区白根・西白根 三条市上須頃 見附市今町・長岡市中之島	白根風合戦協会 三条風協会 今町中之島大風合戦協会	江戸期
県	37	記	史	的場遺跡		H6.3.29	西区の場流通	稲荷神社・新潟市	奈良～平安
県	38	記	史	緒立遺跡		H6.3.29	西区黒島字川根湯・西区緒立流通	緒立八幡宮・新潟市	奈良～平安
県	39	記	名	浄専寺庭園		H2.3.30	西蒲区石瀬	浄専寺	文化～文政年間
県	40	記	天	高森の大ケヤキ	1本	S31.3.23	北区高森	稲荷神社・ 高森自治会	樹高m20m、胸高周り10m
県	41	記	天	間瀬枕状熔岩		S36.3.20	西蒲区間瀬	新潟市	
県	42	記	天	八珍柿原木	1本	S37.3.29	秋葉区古田	個人	樹高m16m、胸高周り2m
県	43	記	天	賀茂神社の大ケヤキ	1本	S42.3.25	江南区木津	賀茂神社	高さm9m、胸高周囲6.4m
市	1	有	建	木場八幡宮本殿	1棟	S48.4.15	西区木場	木場八幡宮	江戸
市	2	有	建	阿部家仏間	1棟	S48.4.15	西区黒島	個人	江戸
市	3	有	建	長徳寺の山門	1棟	S49.3.23	西蒲区横戸	長徳寺	天保9年
市	4	有	建	善養寺の山門	1棟	S49.3.23	西蒲区熊谷	善養寺	文政元年
市	5	有	建	新光寺山門	1棟	S50.10.1	西蒲区高野宮	新光寺	享保年間
市	6	有	建	横越組大庄屋建部尚行の碑	1基	S51.6.20	江南区横越東町	個人	江戸末期
市	7	有	建	諏訪神社本殿	1棟	S53.4.1	西区金巻	諏訪神社	江戸
市	8	有	建	妙蓮寺山門	1棟	S53.4.14	秋葉区東島	妙蓮寺	文政9年
市	9	有	建	満徳寺経堂	1棟	S55.7.16	南区大別當	満徳寺	天保14年
市	10	有	建	福浄寺本堂	1棟	S56.5.25	西区板井	福浄寺	江戸
市	11	有	建	善光寺如来堂	1棟	H8.10.16	西蒲区善光寺	善光寺	明和8年
市	12	有	建	愛宕神社 本殿・拝殿	2棟	H13.11.3	中央区古町通	愛宕神社	18世紀
市	13	有	建	法淳寺本堂	1棟	H13.11.3	北区濁川	法淳寺	17世紀末期
市	14	有	建	真光寺太子堂	1棟	H13.11.3	江南区松山	真光寺	安永7年
市	15	有	建	復原 澤将監の館 母屋・土蔵・表門	3棟	H16.1.20	西蒲区打越甲	新潟市	平成6年復原
市	16	有	建	旧小澤家住宅 主屋・新座敷・離れ座敷 他	7棟	H18.8.24	中央区上大川前通	新潟市	明治前期（明治末期増改築）

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	17	有	絵	絹本着色地藏菩薩像	1幅	S37.3.29	西蒲区巻甲	安養寺	平安
市	18	有	絵	絹本着色不動明王二童子像	1幅	S38.3.28	西蒲区巻甲	個人	室町
市	19	有	絵 (書)	大黒天図 五十嵐凌明筆 竹内式部賛	1幅	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸中期
市	20	有	絵	五十嵐凌明筆 三十六歌仙図 扁額	1面	S49.11.3	中央区西大畑町 新潟大神宮内	新潟大神宮	江戸中期
市	21	有	絵	顕如上人親鸞聖人絵像裏書	2巻	S50.9.16	西蒲区曽根	個人	江戸初期
市	22	有	絵	行田魁庵筆 「新潟入船之図」	1幅	S51.11.2	中央区柳島町 歴史博物館内	個人・新潟市	明治4年
市	23	有	絵	五姓田芳柳筆 「新潟萬代橋」図	1幅	S53.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	明治21年
市	24	有	絵	宗賢寺歴世住職肖像画	19幅	S54.2.9	江南区横越東町	宗賢寺	元文4年
市	25	有	絵	本間家懲震恣鑑（文政地震画帖）	1冊	S55.3.22	秋葉区市之瀬	個人	文政11年以降
市	26	有	絵	長井雲坪筆 四季山水図 六曲屏風	1双	S55.11.1	中央区柳島町 歴史博物館内	個人・新潟市	明治25年
市	27	有	絵	山論裁定絵図と山論関係記録	絵図4面記録 21点	S56.5.27	秋葉区金津	個人	元禄年間
市	28	有	絵	普談寺絵馬	2枚（1対）	S57.2.17	秋葉区朝日	普談寺	江戸初期
市	29	有	絵	五姓田芳柳筆 八木朋直肖像	1幅	S57.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	明治20年
市	30	有	絵	五姓田芳柳筆 鈴木長蔵肖像	1面	S57.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	明治18年
市	31	有	絵	五姓田芳柳筆 帆檣成林	1面	S57.11.3	中央区礎町通	個人	明治
市	32	有	絵	書画帖	3冊	H3.3.18	秋葉区新保	個人	安政3年
市	33	有	絵	絵馬（頼光入山の図・虎と松・三十六歌仙）	3点	H5.8.1	江南区東本町	亀田諏訪社	江戸
市	34	有	絵	味方諏訪神社 献詠詩歌	3点	H8.12.26	南区味方	味方自治会	寛延4年
市	35	有	彫	木造阿弥陀如来立像	1軀	S37.3.29	西蒲区潟頭	個人	平安
市	36	有	彫	木造角海浜聖観世音菩薩像	1軀	S42.3.30	西蒲区五ヶ浜	新潟市・五ヶ浜自治会	江戸
市	37	有	彫	聖観音像	1軀	S48.3.30	西蒲区茨島	茨島観音講	元文期以前
市	38	有	彫	木造地藏菩薩立像	1軀	S50.2.24	南区庄瀬	潮山寺	16世紀後半
市	39	有	彫	三十三観音像	33軀	S50.10.1	西蒲区打越	浦川講中	承応元年
市	40	有	彫	天正の狛犬	1対	S50.10.1	西蒲区打越	浦川講中	不明
市	41	有	彫	善養寺の阿弥陀如来像	1軀	S55.4.1	西蒲区熊谷	善養寺	平安
市	42	有	彫	木造阿弥陀如来立像	1軀	S55.7.16	南区上曲通	梵行寺	室町初期
市	43	有	彫	木造聖観音菩薩立像	1軀	S58.3.22	江南区横越上町	観音小路氏子中	室町
市	44	有	彫	地藏菩薩像	1軀	S61.9.17	江南区砂山	砂崩地藏講	江戸初期
市	45	有	彫	亀田八景 版本	5枚	H5.8.1	江南区茅野山 江南区郷土資料館内	新潟市	弘化4年
市	46	有	彫	善光寺如来堂本尊	3軀	H8.10.16	西蒲区善光寺	善光寺区長	室町～江戸期
市	47	有	彫	光明院木造薬師如来像	1軀	H14.3.26	江南区木津	光明院	平安～鎌倉期
市	48	有	彫	木造如来座像	1軀	H14.12.25	西蒲区岩室温泉	岩室どん坂阿弥陀講中	鎌倉後期～南北朝前期
市	49	有	彫	木造聖観音坐像	1軀	H30.3.14	西蒲区竹野町	金仙寺	鎌倉末期
市	50	有	工	古瀬戸鉄釉瓶子	1口	S36.3.16	西蒲区巻甲巻 郷土資料館内	新潟市	鎌倉末期
市	51	有	工	誕生釈迦仏立像	1軀	S45.4.1	西区板井	個人	不明
市	52	有	工	刀装エノ拵え	1点	S47.3.30	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	不明
市	53	有	工	鰐口 貞治七戊申年銘 附 天保十一年丹羽思亭拓本識語1幅	1口	S51.11.2	中央区沼垂東	沼垂白山神社	貞治7年
市	54	有	工	刀剣	2振	S52.3.22	南区西白根	個人	桃山期
市	55	有	工	赤絵花菱唐草文灯籠	1対	S58.3.31	北区太子堂	上宮社・太子堂自治会	明治
市	56	有	工	武者絵深鉢	1点	S58.3.31	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	明治
市	57	有	工	山崎興野地内出土の懸仏	2軀	H17.2.9	南区下山崎・南区山崎興野	個人	室町～戦国期
市	58	有	工	色絵金彩梅鶯松蟬図花瓶	2点	H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	明治
市	59	有	工	染付藻魚図平鉢	1点	H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	明治
市	60	有	書	良寛書 双幅「いろは・一二三」	2幅	S35.2.12	西蒲区松野尾	個人	江戸
市	61	有	書	良寛書 振仮名付十大願文	1巻	S37.3.29	西蒲区巻甲	個人	江戸

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	62	有	書	日寿筆 祖書綱要冊略稿本	7冊	S38.3.30	西蒲区角田浜	妙光寺	江戸
市	63	有	書	懷旧歳時記	2冊	S41.3.29	西蒲区巻甲	個人	明治9年
市	64	有	書	良寛書 長谷川家法名	1幅	S42.3.30	西蒲区角田浜	個人	江戸
市	65	有	書	松丘立生詩歌集	1冊	S43.3.8	西蒲区巻甲	個人	江戸期
市	66	有	書	館柳湾遺品（書翰・印刻・看板・墨書）	一括	S45.3.27	東区河渡	株式会社養玲社	江戸期
市	67	有	書	水沢新田村御検地帳並に古文書	一括	S48.3.30	西蒲区三方 湯東歴史民俗資料館内	新潟市	承応年間～明治10年
市	68	有	書	下大原村御検地帳並に地図	一括	S48.3.30	西蒲区三方 湯東歴史民俗資料館内	新潟市	享保11年
市	69	有	書	白根紙鴛合戦見聞記	1巻	S48.4.12	南区白根	個人	弘化4年
市	70	有	書	竹内式部書 「松」一字 五言対句	1幅	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸中期
市	71	有	書	竹内式部書 一行 白圭之玷云々	1幅	S49.11.3	中央区西大畑町	個人	江戸中期
市	72	有	書	竹内式部筆 三宅島流人罪名帳 断簡	1枚	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	明和4年
市	73	有	書	五之上村御検地帳 御米印帳	2冊	S51.3.9	西蒲区五之上	個人	慶安2年、慶応4年
市	74	有	書	蓮徳寺一切経	1,160冊	S53.4.14	秋葉区西島	蓮徳寺	寛文年間
市	75	有	書	獅子踊り歌詞秘書	5巻	S55.3.22	秋葉区日宝町 新津図書館内	小戸下組獅子保存会・ 新潟市	文化10年
市	76	有	書	万福寺九世悦巖素所遺墨	5点	S61.3.28	西蒲区仁箇	万福寺	江戸
市	77	有	書	亀田鵬斎書 山茶之亭扁額	1面	S61.3.28	西蒲区松野尾	個人	文化7年
市	78	有	書	小須戸町屋舗絵図	1枚	H3.3.18	秋葉区小須戸	個人	文政9年
市	79	有	書	本住寺模札	7枚	H3.3.18	秋葉区横川浜	本住寺	永禄元年
市	80	有	書	小泉蒼軒文庫	一括	H5.1.20	秋葉区日宝町 新津図書館内	個人・新潟市	江戸末期
市	81	有	書	真宗本山講中「御書」	3巻	H5.12.14	西蒲区打越甲 澤将監の館内	打越婦人講 他・ 新潟市	文政8年
市	82	有	書	香月堂鶯宿関係資料（盛弘社芭蕉講軸物ほか）	19種	H6.2.18	西蒲区曾根 西川学習館内	新潟市	大正～昭和5年
市	83	有	書	香月堂鶯宿関係資料（山口嵐更半折ほか）	4点	H6.2.18	西蒲区曾根 西川学習館内	新潟市	大正～昭和5年
市	84	有	書	年中故事	6冊	H6.3.30	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	弘化3～慶応2年
市	85	有	書	良寛書 有則堂	1幅	H6.3.30	西蒲区角田浜	願正寺	江戸
市	86	有	書	巻菱湖筆 司空表聖詩品二十四章	2帖	H11.9.29	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	江戸
市	87	有	書	武田信玄・勝頼の感状	1幅（2点）	H16.1.20	西蒲区打越甲 澤将監の館内	個人・新潟市	16世紀
市	88	有	書	有願筆の屏風・掛軸	28点	H17.2.9	南区新飯田ほか	個人	江戸末期
市	89	有	古	慶長五年巻村検地帳	1冊	S36.3.16	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	慶長5年
市	90	有	古	越前国小橋屋村御検地帳	1冊	S38.3.30	西蒲区巻甲	個人	慶長3年
市	91	有	古	慶安三年蒲原郡松尾村人御改帳	1冊	S43.3.8	西蒲区松山新田	個人	慶安3年
市	92	有	古	笛木家文書	400点	S44.3.15	西蒲区中郷屋	個人	江戸
市	93	有	古	籠島黒印状	1幅	S40.3.24	西蒲区巻甲	城願寺	天正18年
市	94	有	古	延宝三年乙卯・地境出入御裏書絵図並に 附帯文書1通	1巻	S48.3.30	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	江戸
市	95	有	古	倉嶋家文書	677点	S48.6.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	江戸～
市	96	有	古	年貢割付状及皆済目録	181通	S50.9.16	西蒲区真田	個人	江戸～明治初期
市	97	有	古	承応3年～明治初年庄屋文書	269通	S52.3.4	西蒲区善光寺	個人	江戸～明治初期
市	98	有	古	真柄家石油関係資料	70点	S53.4.14	秋葉区柄目木・ 秋葉区日宝町 新津図書館内	個人・新潟市	慶長18年～明治33年
市	99	有	古	澤田家能代川堰関係資料	26点	S53.4.14	秋葉区草水町	個人	天正8年～昭和16年
市	100	有	古	土屋家文書	607点	S54.2.27	西蒲区西汰上	個人	江戸～明治中期
市	101	有	古	黒島村諸色書上帳	1冊	S54.4.1	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸
市	102	有	古	高橋（武田）源助の書簡	1通	S54.4.1	西区木場	個人	江戸
市	103	有	古	小山家所蔵古文書	58点	S57.7.21	西区大野町	個人	江戸
市	104	有	古	梨栄造有秘鑑及び証文	1式	H26.28	南区東萱場	個人	天明2年
市	105	有	古	石井家文書	88点	H55.27	江南区沢海	一般財団法人 北方文化博物館	江戸～明治期
市	106	有	古	割野新田開発許可状	1枚	H58.1	江南区茅野山 江南区郷土資料館内	個人	寛永13年

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	107	有	古	越前浜村立許可状	1枚	H6.3.30	西蒲区巻甲	個人	慶長16年
市	108	有	古	澤家文書	552点	H16.1.20	西蒲区中之口 中之口先人館内	新潟市	江戸～大正
市	109	有	古	寛政二庚戌年福島潟絵図	1点	H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	照善寺新潟市（北区郷土博物館）	寛政2年
市	110	有	考	布日遺跡出土尖底深鉢形土器	1個	S38.3.30	東京都台東区上野公園 東京国立博物館内	東京国立博物館	縄文前期
市	111	有	考	自然釉甕	1個	S41.3.29	西蒲区巻甲巻郷土資料館内	竹野町地区所有新潟市	鎌倉末期
市	112	有	考	緒立土器	一括	S47.3.30	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文～中世
市	113	有	考	五ヶ浜須恵器甕	1個	S51.3.9	西区木場 文化財センター内	五ヶ浜地区所有新潟市	平安
市	114	有	考	中才遺跡出土品	一括	S52.3.4	西区木場 文化財センター内	新潟市	平安
市	115	有	考	市内遺跡出土品	72点	S58.3.31	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	縄文～平安
市	116	有	考	鳥屋遺跡発掘調査出土品	一括	S59.4.1	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文
市	117	有	考	上黒山遺跡出土品	一括	S59.4.1	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	縄文～古墳
市	118	有	考	本町中世石仏	1体	H5.1.20	秋葉区新津本町	福王寺	中世
市	119	有	考	大鹿諏訪神社中世石仏	1体	H5.1.20	秋葉区大鹿	諏訪神社	中世
市	120	有	考	盛岩寺中世石仏	3体	H5.1.20	秋葉区大安寺	盛岩寺	中世
市	121	有	考	馬場屋敷遺跡出土品	3,017点	H5.7.14	西区木場 文化財センター内	新潟市	鎌倉後期
市	122	有	考	的場遺跡出土品（県指定分は除く）	一括	H5.11.3	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文～中世
市	123	有	考	笹山前遺跡出土縄文時代の深鉢形土器	1点	H10.3.24	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	縄文
市	124	有	考	新谷遺跡出土浅鉢形土器	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文前期
市	125	有	考	南赤坂遺跡出土「の」字状垂飾	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文前期～中期
市	126	有	考	大沢遺跡出土中期前葉縄文土器	12点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文中期
市	127	有	考	上ノ原遺跡採集石棺	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	個人・新潟市	縄文後期
市	128	有	考	上ノ原遺跡出土「深靴」土偶	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文後期
市	129	有	考	御井戸遺跡出土縄文時代木製品	9点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	縄文晩期
市	130	有	考	山谷古墳出土品	一括	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	古墳前期
市	131	有	考	南赤坂遺跡出土古墳時代北方系土器（県指定分は除く）	一括	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	古墳前期
市	132	有	考	前平野窯跡出土須恵器	1点	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	平安
市	133	有	考	沙山遺跡出土中世釣針	一括	H11.9.29	西区木場 文化財センター内	新潟市	室町
市	134	有	考	葛塚遺跡出土朱塗り線刻物画土器	1個体	H14.3.8	西区木場 文化財センター内	新潟市	古墳前期
市	135	有	歴	検見櫓	1脚	S38.3.28	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	新潟市	江戸
市	136	有	歴	豊栄市役所文書	6,834点	S46.8.30 H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	江戸～
市	137	有	歴	佐藤家文書	3,112点	S46.8.30 H17.3.18	北区嘉山 北区郷土博物館内	新潟市	江戸～明治初期
市	138	有	歴	六灯ランプ（旧新潟税関使用シャンデリア）	1基	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	東京税関・新潟市	19世紀中期
市	139	有	歴	浦高札	2枚	S49.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	個人・新潟市	明治2年
市	140	有	歴	松平忠輝関係文書	2通	S51.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	慶長15年
市	141	有	歴	堀直奇文書	4通	S51.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	元和2～3年
市	142	有	歴	沢海日枝神社の大幟	1組	S51.6.20	江南区沢海	日枝神社・北方文化博物館	文政8年
市	143	有	歴	船屋看板 良寛書刻字	5枚	S51.11.3	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸後期
市	144	有	歴	横越島絵図	1枚	S53.11.3	江南区割野	個人	寛永16年
市	145	有	歴	門田ハザ並木	1個所	S58.2.18	西蒲区門田	新潟市	
市	146	有	歴	片柳札三の碑（墓）	1基	S58.2.18	西蒲区羽黒	新潟市	明治4年
市	147	有	歴	小杉八幡宮の大幟	1組	S63.4.12	江南区小杉	八幡宮	文政8年
市	148	有	歴	卯八郎請の御領の旗	1流	H1.7.20	西蒲区三方 潟東歴史民俗資料館内	新潟市	宝暦3年
市	149	有	歴	朝日本多家の双芳碑	1基	H5.1.20	秋葉区朝日	個人	明治40年
市	150	有	歴	秋葉神社の祈禱碑	1基	H5.1.20	秋葉区秋葉	秋葉神社	寛政11年
市	151	有	歴	笹川家平十郎宅絵図面	1枚	H5.5.31	南区味方 曾我平澤記念館内	新潟市	不明

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	152	有	歴	俳諧三祖塔	1組 (3基)	H5.7.6	秋葉区中村	個人	寛政5年
市	153	有	歴	北辰隊関係資料	132点	H9.3.31 H17.3.18	北区嘉山北区郷土博物館内	新潟市	明治元年
市	154	有	歴	木崎小作争議関係資料	675点	H9.3.31 H17.3.18	北区嘉山北区郷土博物館内	新潟市	大正後期
市	155	有	歴	浄福寺法宝物	26点	H11.9.29	西蒲区竹野町	浄福寺	鎌倉～安土桃山期
市	156	有	歴	萬巻楼の額、聯、萬巻楼記	3点	H14.9.10	秋葉区中村	個人	江戸
市	157	有	歴	家相図	1枚	H16.1.20	西蒲区打越甲澤将監の館内	個人・新潟市	江戸後期
市	158	有	歴	旧鎧郷村道路元標・旧曾根村道路元標	2基	H16.6.4	西蒲区天竺堂・西蒲区曾根	新潟県	大正11年以降
市	159	有	歴	旧升潟村道路元標	1基	H16.6.4	西蒲区大潟	新潟市	大正11年以降
市	160	有	歴	曾根村道図	1軸	H16.6.4	中央区柳島町歴史博物館内	新潟市	昭和22年
市	161	有	歴	鎧郷村道路線調書及び鎧郷村道図（大字別）	1式	H16.6.4	西蒲区曾根西川学習館内	新潟市	大正9年
市	162	有	歴	曾根郷耕地整理組合第一区整理略図	1軸	H16.7.30	西蒲区曾根	個人	昭和25年
市	163	有	歴	横田切れの記録（腰板）	1枚	H17.2.25	西蒲区三方潟東 歴史民俗資料館内	新潟市	明治29年
市	164	有	歴	下興野新田絵図	4点	H17.3.18	北区嘉山北区 郷土博物館内	新潟市	享保～・明治
市	165	有	歴	綿向神社勧請石柱	1点	H17.3.18	北区内沼	内沼神社	元文元年
市	166	無	芸	日本舞踊市山流		H15.7.16	中央区古町通	市山七十郎	江戸後期～
市	167	無	工技	白根紋り		H5.7.14	南区白根	サークルしろね紋り	江戸後期～
市	168	民	有民	民家旧宅（旧武田家住宅）	1棟	S45.4.1	西区本場 文化財センター内	新潟市	江戸
市	169	民	有民	篠原幸三郎家住宅	1棟	S46.3.23	西蒲区五ヶ浜	新潟市	明治初期、昭和53年移築
市	170	民	有民	せんば	1点	S47.3.30	西区本場 文化財センター内	新潟市	不明
市	171	民	有民	湊稲荷神社願懸け高麗犬	1対	S55.11.1	中央区稲荷町	湊稲荷神社	嘉永7年
市	172	民	有民	満願寺稲架木並木	1箇所	S57.2.17	秋葉区満願寺	満願寺集落26名・新潟市	
市	173	民	有民	金刀比羅神社難船彫刻絵馬	1面	S59.11.3	中央区寄合町	金刀比羅神社	明治30年
市	174	民	有民	伊多井神社の天井絵	1面	S61.5.1	西区板井	伊多井神社	慶応3年
市	175	民	有民	のぞきからくり	一括	S62.3.27	西蒲区巻甲 巻郷土資料館内	個人・新潟市	大正
市	176	民	有民	高札（基利支丹札）	1点	H34.1	西区本場 文化財センター内	新潟市	江戸中期
市	177	民	有民	松前藩主薬箱	1点	H34.1	中央区柳島町 歴史博物館内	新潟市	江戸
市	178	民	有民	畜動舎	1棟	H3.7.22	西区本場 文化財センター内	新潟市	
市	179	民	有民	角兵衛地藏尊	2躯	H4.12.10	南区月潟	月潟地区	江戸初期
市	180	民	有民	簞箱・簞棒	1個・23本	H5.2.20	西蒲区曾根 西川学習館内	新潟市	万延2年
市	181	民	有民	福島潟民俗資料	442点	H9.3.31 H17.3.18	北区嘉山北区 郷土博物館内	新潟市	
市	182	民	有民	越後毒消しコレクション	一括	H11.9.29	西蒲区巻甲巻 郷土資料館内	新潟市	江戸末期～昭和期
市	183	民	有民	鎧潟で使用されていた漁労・狩猟用具	50点	H17.2.25	西蒲区三方 潟東歴史民俗資料館内	新潟市	明治～昭和期
市	184	民	民芸	内沼獅子舞	1	S38.1.12	北区内沼	内沼獅子舞保存会	享保期以降～
市	185	民	民芸	内島見の神楽	1	S38.1.12	北区内島見	内島見神楽保存会	明治初期～
市	186	民	民芸	高森の神楽	1	S38.1.12	北区高森	高森いざや神楽保存会	宝永年間～
市	187	民	民芸	他門の神楽	1	S38.1.12	北区葛塚	他門神楽保存会	宝暦年間～
市	188	民	民芸	嘉山の神楽	1	S38.1.12	北区嘉山	嘉山神楽保存会	寛政から文政年間～
市	189	民	民芸	葛塚盆踊	1	S38.1.12	北区葛塚	豊栄郷土民謡保存会	明治中期～
市	190	民	民芸	正尺の神楽	1	S40.7.15	北区葛塚	正尺神楽保存会	天保年間～
市	191	民	民芸	長場の神楽	1	S38.1.12	北区長場	長場神楽保存会	明治中期～
市	192	民	民芸	和納三社神社祭礼行事	7	S43.9.12 S50.2.22 H15.3.12	西蒲区和納	和納三社神社氏子	花火：天保年間～ 棒遣い：大正年間～
市	193	民	民芸	竹野町神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区竹野町	竹野町神楽舞保存会	文化から文政年間～
市	194	民	民芸	巻神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区巻甲	巻神楽保存会	江戸期～

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	195	民	民芸	稲島神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区稲島	稲島神楽保存会	江戸期～
市	196	民	民芸	松山神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区松山	松山神楽保存会	明治39年～
市	197	民	民芸	松野尾神楽舞	1	S44.3.15	西蒲区松野尾	松野尾神楽舞保存会	起源不詳、昭和31年再興
市	198	民	民芸	棒踊り	1	S45.4.1	西区木場	黒埼地区郷土芸能保存会木場支部	
市	199	民	民芸	河井神楽舞	1	S50.4.25	西蒲区河井	河井神楽保存会	明治初期～
市	200	民	民芸	布目神楽舞	1	S50.4.25	西蒲区布目	布目神楽保存会	江戸～、昭和43年再興
市	201	民	民芸	国見神楽舞	1	S51.3.9	西蒲区国見	国見南地区自治会	江戸～、大正期復活
市	202	民	民芸	湯頭神楽舞	1	S51.6.5	西蒲区湯頭	湯頭神楽舞保存会	明治初期～
市	203	民	民芸	小戸下組獅子踊り	1	H51.2.0	秋葉区小戸下組	小戸下組獅子保存会	文化年間～
市	204	民	民芸	赤鎗神楽舞	1	H5.3.30	西蒲区赤鎗	赤鎗神楽舞保存会	
市	205	民	民芸	白根の獅子舞	1	H16.4.6	南区白根魚町	魚町神楽連	18世紀初期
市	206	民	民芸	角兵衛獅子	1	H25.4.15	南区月湯	角兵衛獅子保存会	江戸中期
市	207	記	史	上城跡		S35.2.12	西蒲区竹野町	新潟市	室町
市	208	記	史	下城		S35.2.12	西蒲区竹野町	新潟市 他	室町
市	209	記	史	館ノ腰		S36.3.16	西蒲区馬堀	白山神社	室町
市	210	記	史	巻館跡		S40.3.24 S57.3.26	西蒲区巻甲	新潟市	室町
市	211	記	史	天神山城址		S43.9.12	西蒲区石瀬・岩室温泉・間瀬	個人	室町
市	212	記	史	松岳山城址		S43.9.12	西蒲区岩室温泉	和納	室町
市	213	記	史	樋切遺跡		S48.3.30	西蒲区五之上	個人	弥生～平安
市	214	記	史	間瀬銅山跡	7	S49.6.1	西蒲区間瀬	新潟市	江戸～大正9年
市	215	記	史	煮坪	1箇所	S50.9.4	秋葉区草水町	個人・新潟市	慶長13年
市	216	記	史	幸清水	1箇所	S50.12.2	秋葉区秋葉	新潟市	文化4年
市	217	記	史	上ノ原遺跡		S51.3.9	西蒲区竹野町	竹野町 他	縄文後期～晩期
市	218	記	史	山谷古墳		S60.1.30	西蒲区福井	個人	古墳前期
市	219	記	史	東島城跡	1箇所	S60.3.4	秋葉区東島字城ヶ平	新潟市 他	中世
市	220	記	史	桜清水	1箇所	S61.1.14	秋葉区中村	那加武良神社	弘安元年
市	221	記	史	八幡山遺跡群	1群	H5.1.20	秋葉区古津字八幡腰ほか	新潟市	縄文～平安
市	222	記	史	ひさかき清水	1箇所	H5.1.20	秋葉区田家	妙本寺	享保年間
市	223	記	史	手掘石油井戸	1箇所	H5.1.20	秋葉区田家字山親割	新潟市	明治10年頃
市	224	記	史	馬堀用水遺跡		H8.11.28	西蒲区馬堀	個人	馬堀用水・長恩院石塔江戸
市	225	記	名	判官舟かくし	1箇所	S42.3.30	西蒲区角田浜	角田浜	海蝕洞
市	226	記	天	水芭蕉自生地	1箇所	S35.2.12	西蒲区仁箇	個人	
市	227	記	天	行人塚の大櫨	1本	S39.7.23	西蒲区熊谷	烏方集落会	樹高13.5m、胸高周囲6.4m
市	228	記	天	稲島の椿谷自然林	1箇所	S44.3.15	西蒲区稲島	稲島	
市	229	記	天	稲島の大杉	1本	S44.3.15	西蒲区稲島	稲島	樹高22m、胸高周囲6m
市	230	記	天	ばしくもん、つばくさ		S47.2.26	西蒲区間瀬	新潟市	
市	231	記	天	旧入徳館小のたぶの木	1本	S48.3.30	西蒲区峰岡	新潟市	樹高7m、胸高周囲4.1m樹齢約200年
市	232	記	天	上堰湯	1箇所	S49.3.23	西蒲区松野尾	国・新潟市	
市	233	記	天	山口家の大たぶの木	1本	S49.3.23	西蒲区山口新田	個人	樹高15m、胸高周囲3m
市	234	記	天	コウヤマキ（高野槇）	1本	S50.7.12	江南区藤山	個人	樹高20m、胸高周囲3.4m
市	235	記	天	スダジイ（しいの木）	1本	S51.3.9	西蒲区松野尾	仙城院	樹高10.5m、胸高周囲4.6m
市	236	記	天	曾根神社境内大櫨	1本	S54.2.27	西蒲区曾根	曾根神社	樹高20m、胸高周囲4.3m
市	237	記	天	大櫨	1本	S57.12.24	西蒲区曾根 曾根小学校内	新潟市	樹高6m、胸高周囲1.8m
市	238	記	天	長周寺の老姫小松	1本	H1.7.20	西蒲区大原	長周寺	樹高4.7m、胸高周囲2m
市	239	記	天	長沼家の老五葉松	1本	H1.7.20	西蒲区称名	個人	樹高5.6m、胸高周囲5.6m

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
市	240	記	天	百日紅（サルスベリ）	1本	H1.9.8	南区大郷	個人	樹高11m、胸高周囲1.9m
市	241	記	天	普談寺の大杉	1本	H5.1.20	秋葉区朝日	普談寺	樹高30m、胸高周囲5.3m
市	242	記	天	真柄家の大樺	1本	H5.1.20	秋葉区柄目木	個人・新潟市	樹高16m、胸高周囲7.8m
市	243	記	天	福王寺の大赤檜	1本	H5.1.20	秋葉区山谷町	福王寺	樹高15m、胸高周囲2.9m
市	244	記	天	小戸の大花梨	1本	H5.1.20	秋葉区小戸下組	個人	樹高12m、胸高周囲1.8m
市	245	記	天	北潟の大譲葉	1本	H5.1.20	秋葉区北潟	個人	樹高13m、胸高周囲2.1m
市	246	記	天	子成場柿	1本	H5.1.20	秋葉区浦興野	個人	樹高11m、胸高周囲1.7m
市	247	記	天	石崎家の紅梅	1本	H5.1.20	秋葉区新津本町	個人	樹高9m、胸高周囲2.4m
市	248	記	天	大四手叢林	1個所	H5.1.20	秋葉区金津	佐久那殿神社	樹齢約100～200年
市	249	記	天	椿林	1個所	H5.1.20	秋葉区朝日	個人	樹齢50～300年
市	250	記	天	らかんまき 外	5本	H6.4.1	江南区荻曾根	個人	樹高9m（らかんまき）
市	251	記	天	つばき	1本	H6.4.1	江南区袋津	個人	胸高周囲1.5m
市	252	記	天	かや	1本	H6.4.1	江南区城山	個人	胸高周囲1.9m
市	253	記	天	大久保の大ケヤキ	1本	H12.5.26	北区大久保	神明社・大久保自治会	樹高24m、胸高周囲6.5m
市	254	記	天	お杉	1本	H15.11.12	西蒲区石瀬	新潟市	樹高22m、胸高周囲6.4m
市	255	記	天	大杉	1本	H16.8.11	西蒲区樋曾	日吉神社	樹高36m、胸高周囲6.1m
市	256	記	天	大樺	1本	H16.8.11	西蒲区石瀬	石瀬神社	樹高42m、胸高周囲5.2m
市	257	記	天	羅漢楨	1本	H16.8.11	西蒲区石瀬	青龍寺	樹高11.5m、胸高周囲2.7m
市	258	記	天	銀木犀	1本	H16.8.11	西蒲区石瀬	種月寺	樹高7m、胸高周囲1.5m
市	259	記	天	多宝山の樺	1本	H16.8.11	西蒲区石瀬	個人	樹高20m、胸高周囲2.9m
市	260	記	天	ご神木 樺	1本	H16.8.11	西蒲区和納	八幡神社（三社神社）	樹高8.5m、胸高周囲7.4m

凡 例 「種別欄」は、() 内の略号で表記
有形文化財 建造物（建）、絵画（絵）、彫刻（彫）、工芸品（工）、書跡・典籍（書）、古文書（古）、考古資料（考）、歴史資料（歴）
無形文化財 芸能（芸）、工芸技術（工技）
民俗文化財 有形民俗文化財（有民）、無形民俗文化財の民俗芸能（民芸）、無形民俗文化財の風俗慣習（風）、無形民俗文化財の民俗技術（民技）
記念物 史跡（史）、名勝（名）、天然記念物（天）

【参考】

令和2年度に県指定文化財「龍龍鏡（越後国菖蒲塚古墳出土）」が東京国立博物館の所蔵となった。
これにより上記一覧表及び件数からは除外したが、市内所在の菖蒲塚古墳からの出土品であり、県指定は維持されている。

(2) 国登録文化財（令和5年3月31日現在）

区分	No.	種類	種別	名 称	員数	登録年月日	所 在 地	所有者・管理者	備 考
国	1	有	建	新津記念館	1棟	H10.4.21	中央区旭町通	公益財団法人新津記念館	昭和13年
国	2	有	建	北方文化博物館 主屋・大広間ほか	26棟	H12.4.28	江南区沢海	一般財団法人北方文化博物館	明治20年
国	3	有	建	太古山日長堂 主屋・仏蔵	2棟	H12.4.28	北区新崎	一般財団法人太古山日長堂	18世紀中期
国	4	有	建	佐野商店 店舗兼住宅	1棟	H12.4.28	中央区沼垂東	個人	昭和12年
国	5	有	建	二宮家住宅 主屋・農舎	2棟	H12.4.28	江南区俵柳	個人	大正7年
国	6	有	建	斎藤家住宅 主屋・土蔵	2棟	H12.4.28	中央区関屋本村町	株式会社斎藤不動産	明治初期
国	7	有	建	樋木酒造 店舗兼主屋・西・東酒蔵	3棟	H12.4.28	西区内野町	公益財団法人鶴友会	20世紀初期
国	8	有	建	木揚場教会	1棟	H12.4.28	中央区礎町通	木揚場教会	大正15年
国	9	有	建	行形亭 主屋ほか	10棟	H12.4.28	中央区西大畑町	株式会社行形亭	19世紀中期
国	10	有	建	鍋茶屋 主屋ほか	7棟	H12.4.28	中央区東堀通	合資会社鍋茶屋	明治43年
国	11	有	建	燕喜館（旧斎藤家住宅） 主屋	1棟	H12.4.28	中央区一番堀通町	新潟市	明治41年
国	12	有	建	北方文化博物館新潟分館 主屋・洋館ほか	7棟	H12.4.28	中央区南浜通	一般財団法人北方文化博物館	明治28年頃
国	13	有	建	諸橋家住宅 主屋・土蔵	2棟	H13.11.20	江南区茗荷谷	個人	大正10年頃
国	14	有	建	飯田家住宅土蔵	1棟	H14.8.21	西区内野町	個人	明治22年
国	15	有	建	吉田家住宅 主屋・座敷棟・土蔵	3棟	H15.1.31	秋葉区大鹿	個人	明治16年
国	16	有	建	大橋屋 主屋及び土蔵	1棟	H15.7.1	中央区本町通	個人	昭和10年
国	17	有	建	亀田町上水道高架水槽	1棟	H15.7.1	江南区亀田水道町	新潟市	昭和8年
国	18	有	建	高島屋 主屋・土蔵・旧米蔵	3棟	H16.7.23	西蒲区岩室温泉	株式会社花結	宝暦5年
国	19	有	建	新潟大学 旭町学術資料展示館ほか	2棟	H17.11.10	中央区旭町通	国立大学法人新潟大学	昭和4年
国	20	有	建	旧第四銀行住吉町支店	1棟	H17.11.10	中央区柳島町	新潟市	昭和2年
国	21	有	建	妙光寺 三重小塔・山門・鐘楼	3棟	H18.3.2	西蒲区角田浜	妙光寺	18世紀後期
国	22	有	建	小林家住宅 主屋	1棟	H18.3.27	中央区南昆沙門町	個人	昭和13年
国	23	有	建	石本家住宅 主屋ほか	6棟	H19.12.5	江南区東本町	個人	明治34年～昭和初期
国	24	有	建	内島見 観音堂・仁王堂	2棟	H19.12.5	北区内島見	宗教法人養福寺	元治2年・明治34年
国	25	有	建	石動神社 本殿・拝殿	2棟	H20.7.8	北区白新町	宗教法人石動神社	寛政8年
国	26	有	建	古峯神社 本殿	1棟	H20.7.8	北区白新町	宗教法人石動神社	天保8年
国	27	有	建	稲荷神社 本殿・拝殿及び幣殿・神輿庫	3棟	H20.7.8	北区葛塚	宗教法人稲荷神社	文化12年
国	28	有	建	開市神社 拝殿	1棟	H20.7.8	北区葛塚	宗教法人稲荷神社	明治4年
国	29	有	建	原家住宅 主屋ほか	10棟	H28.8.1	江南区二本木	個人	明治35年～大正3年頃
国	30	有	建	敬覚寺本堂	1棟	H28.8.1	江南区酒屋町	宗教法人敬覚寺	大正8年
国	31	有	建	小松屋旅館 本館・広間棟・表座敷棟・奥座敷棟	4棟	H28.8.1	西蒲区岩室温泉	個人	大正3年～昭和32年
国	32	有	建	梅嶋家住宅 主屋	1棟	H29.10.27	中央区四ツ屋町	個人	昭和元年頃
国	33	有	建	旧白根配水塔	1棟	H30.5.10	南区上下諏訪本字川原	新潟市	昭和8年
国	34	有	建	中原家住宅 主屋ほか	5棟	H30.5.10	西区赤塚	個人	万延元年～昭和10年頃
国	35	有	建	高須家住宅 主屋・土蔵	2棟	R1.12.5	中央区上大川前通	個人	明治中期
国	36	有	建	旧片桐家住宅 主屋・土蔵	2棟	R3.2.4	中央区上大川前通	個人	明治35年・明治前期
国	37	有	建	小鍛冶屋（旧高島家住宅）主屋	1棟	R4.10.31	西蒲区岩室温泉	株式会社リトモ	江戸末期／明治中期・大正前期改修

凡 例 「種別欄」は、（ ）内の略号で表記
有形文化財 建造物（建）

2 区別・ジャンル別文化財件数表（令和5年3月31日現在）

（1）区別

区名	主な旧市町村・地区	国指定	県指定	市指定	指定計	国登録	合計
1 北 区	豊栄市・北地区	2	1	25	28	6	34
2 東 区	中地区・東地区・石山地区	0	1	1	2	0	2
3 中央区	中央地区・東地区・南地区	11	15	27	53	15	68
4 江南区	亀田町・横越町・石山地区・南地区	1	3	17	21	7	28
5 秋葉区	新津市・小須戸町	3	9	37	49	1	50
6 南 区	白根市・味方村・月湯村	2	3	15	20	1	21
7 西 区	黒埜町・坂井輪地区・西地区	0	6	30	36	3	39
8 西蒲区	巻町・西川町・湯東村・中之口村・岩室村	2	5	108	115	4	119
合 計		21	43	260	324	37	361

※ヒシクイ、マガンは北区の件数に含める

※市外に所在の市指定文化財「布目遺跡出土尖底深鉢形土器」については、元の所在地である西蒲区の件数に含める

（2）ジャンル別

種 別		国指定	県指定	市指定	指定計	国登録	合計	
有形	建 造 物	5	1	16	22	37	59	
	絵 画	1	3	18	22	0	22	
	彫 刻	1	5	15	21	0	21	
	工 芸 品	1	2	10	13	0	13	
	書 跡 ・ 典 籍	1	3	29	33	0	33	
	古 文 書	0	3	21	24	0	24	
	考 古 資 料	1	12	25	38	0	38	
	歴 史 資 料	0	5	31	36	0	36	
無形	芸 能	0	0	1	1	-	1	
	工 芸 技 術	0	0	1	1	-	1	
民 俗	有 形 民 俗		1	1	16	18	0	18
	無形民俗	風 俗 慣 習	0	1	0	1	-	1
		民 俗 芸 能	0	0	23	23	-	23
		民 俗 技 術	0	0	0	0	-	0
記念物	史 跡		4	2	18	24	0	24
	名 勝		2	1	1	4	0	4
	天 然 記 念 物		4	4	35	43	0	43
合 計		21	43	260	324	37	361	

3 歴史文化課等の変遷

期 日	部（◆）と課体制等（○）	内 容
平成11年 4月1日	◆総務局国際文化部 ○歴史文化課設置、企画・文化財係及び歴史資料係体制	・教育委員会生涯学習課等の所管事務を引き継ぎ、歴史文化課設置。
平成17年 4月1日	○企画管理係、文化財係、歴史資料係体制へ	・平成17年3月21日の周辺市町村との合併等に伴う事務に対応するため3係体制へ。
平成18年 4月1日	○企画・文化財係、埋蔵文化財係、歴史資料係体制へ	・合併による市域拡大等から、埋蔵文化財に係る調査事務量急増により係体制変更。
平成19年 4月1日	◆文化スポーツ部 ○歴史資料係を組織拡充し、歴史資料整備室設置	・政令指定都市移行に伴う新潟市行政組織規則施行により、部変更及び新潟市埋蔵文化財センター所管開始。 ・歴史資料整備室は文書館の開設準備に関する事項、公文書分類センターに関する事項を所管。
平成20年 4月1日	◆文化・観光スポーツ部	・新潟市行政組織規則改正による部名の変更。
平成23年 4月1日	○課相当の機関の新潟市文化財センター設置 (平成23年7月30日開館)	・歴史文化課所管の新潟市埋蔵文化財センターを廃止し、埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存・活用する施設として西区木場に新潟市文化財センターを設置。
平成24年 4月1日	○新津鉄道資料館に関する事項が分掌事務に追加	・新津鉄道資料館の管理運営を開始。
平成25年 4月1日	○企画・文化財担当、埋蔵文化財担当体制へ	・企画・文化財係と埋蔵文化財係について、それぞれ係からグループ制に変更。
平成26年 4月1日	◆文化スポーツ部	・新潟市行政組織規則改正による部名の変更。
平成28年 4月1日	○歴史資料整備室を歴史資料整備担当体制へ	・歴史資料整備室を廃止し、グループ制に変更。
平成30年 4月1日	○新潟市文化財センターを改組	・文化スポーツ部内に課相当の機関として位置付けられていたものが、歴史文化課の管理の下に置かれる準課相当の機関となる。
令和3年 10月1日	○準課相当の機関の新潟市文書館設置 (令和4年1月8日開館)	・歴史資料整備担当を廃止し、歴史的に重要な公文書等を適切に保存し、市民等の利用に供するための施設として北区太田に新潟市文書館を設置。

令和 4 年度 新潟市文化財調査概要

令和 6 年 3 月発行 (非売品)

編集・発行 新潟市教育委員会
 (新潟市文化スポーツ部歴史文化課)
 〒951-8550
 新潟市中央区学校町通一番町602番地 1
 TEL (025) 226-2575 (歴史文化課直通)

印 刷 有限会社スタッフラン
 〒950-0211
 新潟市江南区横越川根町 3 丁目13-23
 TEL (025) 385-5291